







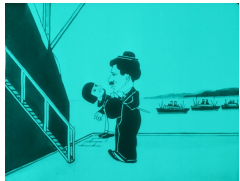

\* 本資料は令和4年度文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業の助成を受け改訂した

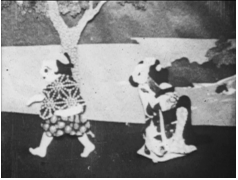

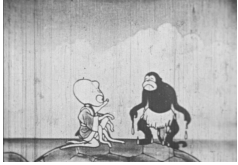

\* 調査は継続中であり、本リストは暫定版です

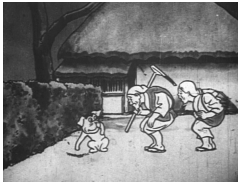

調査チーム


佐崎順昭（映画史研究）、野中和隆（人形アニメーター）、板倉史明（映画研究／神戸大学）、佐野明子（アニメーション研究／同志社大学）、松山ひとみ（アーキビスト／大阪中之島美術館）、安井喜雄、田中範子（神戸映画資料館）

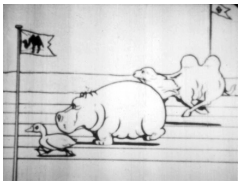



登録題名	製作会社	監督	製作年	調査の判明事項	掲載資料情報（2022年度調査）	音楽を除く著作権状況 （2022年度追記）
1 カテイ石鯨 		北山清太郎？	1922年頃	中山太陽堂（現・クラブコスメチックス）の宣伝広告映画。北山清太郎作の可能性あり。		
2 教育お伽漫画 兎と亀 	北山映画製作所、 ナカジマ活動寫眞部	山本早苗	1924	1923年9月の関東大震災で北山映画製作所オーナーの北山清太郎の家屋や制作スタジオを損壊。北山は一家で関西へ。残された山本は北山映画製作所を引き継ぐが、制作スタジオがどこか不詳。ナカジマ活動寫眞部は神戸なので、山本が神戸へ来て制作したことも考えられる。		
3 のろまな爺 		大藤信郎	1924	大藤信郎の試作第一作。幸内純一のスミカズ映画創作社で制作。		
4 塩原多助（改題「勤儉貯蓄 塩原多助」）	朝日キネマ（鈴木映画）	木村白山	1925 （1941）	1925年『塩原多助』2巻（サイレント）公開後、1927年に一部をカットし22分の『新・塩原多助』を中外活動写真協会が公開。トーキー時代に入り、奥田商会が岩谷サウンドシステムを採用、弁士・松井美明の解説で1巻11分に短縮して活弁トーキー版『勤儉貯蓄 塩原多助』を制作。現在のフィルムは3度目の改訂版である。		




5	ノンキナトウサン竜宮参り (改題「夢の浦島」)	朝日キネマ (鈴木映画)	木村白山	1925 (1942)	トーキー再販。解説：牧野周一。原作漫画は麻生豊。サイレントのオリジナル版は1925年『ノンキナトウサン竜宮参り』。トーキー時代に入り1942年『夢の浦島』(9分)と改題され公開された。この作品は『塩原多助』と2本立てで20分となる。	
6	切紙細工 西遊記 孫悟空物語 	自由映画研究所	大藤信郎	1925	初公開時の資料では3巻となっている。操手：大藤一江。公開年月日：1925年10月29日 (新宿武蔵野館)	
7	正チャンの冒険 	東京線画フィルム製作所?	金井木一路?	1923~1925 (大正年間)	「正チャンの冒険」は樺島勝一が1923年1月から「アサヒグラフ」に連載した子供向きの漫画で大人気になった。2年6カ月の長期連載でアニメ化された。北山清太郎門下の金井木一路(本名・喜一郎)が正チャンシリーズを制作したので、金井作品かもしれない。	
8	漫画 山崎街道	三管谷映画製作所	木村白山	1926	原作漫画は麻生豊「ノンキナトウサン」	
9	チャップリンとクーガン (仮題) 			1920年代	大人向けアニメだが製作会社もアニメ作家も不詳。映画会社が登場するが、出演俳優や監督などのキャラクターは多分、当時の著名スター、監督のカリカチュアと思われる。字幕で『母校の為に』(日活、阿部豊、1925年)のことや、ジャッキー・クーガン風の子供を案内する年配の俳優が山本嘉一に似ていること、『母校の為に』の主演俳優・浅岡信夫に似ているキャラクターも出ていることから(共演者は岡田嘉子でそれらしく見えるキャラクターもいる)、日活で作られたアニメかも知れない。『チャップリンとクーガン』は東京国立近代美術館フィルムセンターの「発掘された映画たち2010」上映時に付された仮題である。	


10	千代紙細工 みかん船 	大藤信郎プロダクション	大藤信郎	1927	オリジナル版は3巻で、文左衛門が途中の島で村人たちがこま犬の怪物に村を荒らされていることを聞き、退治するエピソードがあったが、その場面をカットし、1930年『こま犬の眼』の題で公開。背景：大藤智江。切り抜き：大藤一江。公開年月日：1927年2月11日（新宿武蔵野館）	文部省普通学務局編『文部省推薦映画目録』文部省普通学務局、1928年、 「昭和二年度優秀映画投票」『キネマ旬報』1928年3月11日号、40頁、 「子供に見せたいと思ふ映画」『映画教育』1928年6月号、14-16頁、 「最近教育映画目録」『映画教育』1929年8月号、32-35頁、 「小型映画界」『映画教育』1930年5月号、17頁、	
11	蛸の骨 	横浜シネマ商会	村田安司	1927		「時報」『映画教育』1928年3月号（創刊号）、30-32頁、 「昭和二年度文部省推薦映画一覽」『映画教育』1928年5月号、7頁、 「子供に見せたいと思ふ映画」『映画教育』1928年6月号、14-16頁、 「学校の映画教育（三）」『映画教育』1928年6月号、24頁、 「大毎フィルムライブラリー 昭和三年前半期購入映画一覽」『映画教育』 1928年9月号、17頁、 <広告>『映画教育』1928年9月号、 「時報」『映画教育』1928年11月号、30-32頁、 「時報」『映画教育』1928年12月号、 「新作小型映画紹介」『映画教育』1929年2月号、32頁、 「第一回全国活映教育大会記」『映画教育』1929年3月号、8-19頁、 「時報」『映画教育』1929年3月号、29-32頁、 <広告>『映画教育』1929年3月号、 <広告>『映画教育』1929年4月号、 「時報」『映画教育』1929年5月号、22-26頁、 「最近教育映画目録」『映画教育』1929年8月号、32-35頁、 「学校巡回映画連盟だより」『映画教育』1930年1月号、40頁、 「大毎フィルム・ライブラリー時報（第二号）」『映画教育』1930年2月号、 (一) - (三) 頁、 「学校巡回映画連盟だより」『映画教育』1930年2月号、33頁、 「時報」『映画教育』1930年3月号、34-37頁、 「時報」『映画教育』1930年4月号、32-36頁、 「時報」『映画教育』1930年5月号、30-34頁、 「時報」『映画教育』1930年6月号、26-32頁、 「時報」『映画教育』1930年9月号、32-34頁、 <広告>『映画教育』1930年11月号、 「時報」『映画教育』1930年12月号、36-40頁、 「活映教育界時報」『映画教育』1932年5月号、 「16ミリ映画リスト サクラグラフ」『シネマレコード』1929年7月号、3頁、 「十月の教材と映画」『教材映画』1938年10月号、28-32頁、 「十月・十一月 教材と映画」『教材映画』1939年10月号、40-48頁、 下野宗逸『映画による学習の実際と施設』教育書館、1928年、231-232頁、 仲木貞一『教育映画物語』興文社：文藝春秋社、1928年、236-239頁、 村山知義『プロレタリア映画入門』前衛書房、1928年、219頁、 文部省普通学務局編『文部省推薦映画目録』文部省普通学務局、1928年、 大日本映画協会編『映画撮影学読本 下巻』大日本映画協会、1941年、 文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第一集』文部省、1949年、67頁、	

12	<p>花咲爺</p> 	横浜シネマ商会	村田安司	1928		<p>「『花咲爺』」『映画教育』1928年4月号、27頁、  「時報」『映画教育』1928年4月号、28-31頁、  「昭和二年度文部省推薦映画一覧」『映画教育』1928年5月号、7頁、  「子供に見せたいと思ふ映画」『映画教育』1928年6月号、14-16頁、  「時報」『映画教育』1928年6月号、27-32頁、  「新作映画の物語と解説 誌上家庭映画週間」『映画教育』1928年7月号、8-22頁、  「大毎フィルムライブラリー 昭和三年前半期購入映画一覧」『映画教育』1928年9月号、17頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1928年9月号、  「新作小型映画紹介」『映画教育』1928年12月号、18頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1928年12月号、  「時報」『映画教育』1929年1月号、38-41頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1929年4月号、  「学校巡回映画連盟だより」『映画教育』1929年7月号、31頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1929年7月号、  「最近教育映画目録」『映画教育』1929年8月号、32-35頁、  「学校巡回映画連盟だより」『映画教育』1929年8月号、38頁、  「学校巡回映画連盟だより」『映画教育』1929年10月号、31頁、  「学校巡回映画連盟だより」『映画教育』1929年11月号、31-32頁、  「大毎フィルム・ライブラリー-時報(第二号)」『映画教育』1930年2月号、(一) - (三)頁、  「学校巡回映画連盟だより」『映画教育』1930年2月号、33頁、  「時報」『映画教育』1930年4月号、32-36頁、  「時報」『映画教育』1930年6月号、26-32頁、  「時報」『映画教育』1930年8月号、24-32頁、  「二月の教材映画」『映画教育』1936年2月号、48-49頁、  「16ミリ映画リスト サクラグラフ」『シネマレコード』1929年7月号、3頁、  &lt;広告&gt;『アマチュア映画』1932年5月号、275頁、  &lt;広告&gt;『アマチュア映画』1932年6月号、342頁、  森田篤慶「二月の教材と映画」『教材映画』1938年2月号、35-39頁、  「二月の教材と映画」『教材映画』1939年2月号、24-27頁、  「二月と三月の教材」『教材映画』1940年2月号、21頁、  下野宗逸『映画による学習の実際と施設』教育書館、1928年、231-232頁、  六車修『映画の小窓』文行社、1928年、247-248頁、  村山知義『プロレタリア映画入門』前衛書房、1928年、219頁、  文部省普通学務局編『文部省推薦映画目録』文部省普通学務局、1928年、</p>	
----	--	---------	------	------	--	---	---



13	<p>文福茶釜</p> 	横浜シネマ商会	村田安司	1928		<p>&lt;広告&gt; 『キネマ旬報』1930年7月21日号、19頁、  「小型映画欄」 『キネマ旬報』1931年5月11日号、86頁、  「内務省検閲済新映画メートル数」 『映画旬報』1941年6月21日号、80頁、  「文部省の教化用映画内定」 『映画旬報』1942年6月21日号、27頁、  「教育映画界消息」 『映画教育』1928年4月号、30頁、  「新作映画の物語と解説 誌上家庭映画週間」 『映画教育』1928年7月号、8-22頁、  「教育映画界消息」 『映画教育』1928年7月号、31頁、  「大毎フィルムライブラリー 昭和三年前半期購入映画一覧」 『映画教育』1928年9月号、17頁、  &lt;広告&gt; 『映画教育』1928年9月号、  「時報」 『映画教育』1928年11月号、30-32頁、  「新作小型映画紹介」 『映画教育』1928年12月号、18頁、  &lt;広告&gt; 『映画教育』1928年12月号、  「時報」 『映画教育』1929年3月号、29-32頁、  &lt;広告&gt; 『映画教育』1929年4月号、  「最近教育映画目録」 『映画教育』1929年8月号、32-35頁、  「大毎フィルム・ライブラリー時報（第二号）」 『映画教育』1930年2月号、（一）-（三）頁、  「時報」 『映画教育』1930年8月号、24-32頁、  「フィルム・ライブラリー時報 第四号」 『映画教育』1931年9月号、（三）頁、  「活映教育界時報」 『映画教育』1931年9月号、40-47頁、  「全日本映画教育研究会 九州支部巡回映画会報告」 『映画教育』1935年10月号、29頁、  青戸要三「京都市の映画教育」 『映画教育』1937年5月号、16-21頁、  「時報」 『映画教育』1938年4月号、57頁、  「文部省検定・選定映画（二）」 『映画教育』1942年5月号、50-51頁、  「『文福茶釜』」 『映画と演芸』1928年8月号、22頁、  「企画月評」 『日本映画』1939年11月号、110-112頁、  「16ミリ映画リスト サクラグラフ」 『シネマレコード』1929年7月号、3頁、  「プロダクション通信」 『小型映画』1931年5月号、33頁、  &lt;広告&gt; 『小型映画』1931年6月号、</p>	
14	<p>まんが 茂林寺の釜（文福茶釜 トーキー版）</p>	横浜シネマ商会	村田安司	1928	<p>上記『文福茶釜』のトーキー版。メインタイトル、クレジット欠。エンドタイトル「完」は別タイトルか。CCD認可番号：M11790。トーキー版の製作がいつかは要調査。</p>		



15	<p>動物オリンピック大会</p> 	横浜シネマ商会	村田安司	1928		<p>「昭和三年度優秀映画投票」『キネマ旬報』1929年3月11日号、44-45頁、  「内外短篇映画欄」『キネマ旬報』1933年2月11日号、26頁、  「『動物オリンピック大会』」『映画教育』1928年9月号、28頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1928年9月号、  「学校映画会めぐり 東平野第二小学校」『映画教育』1928年10月号、14-15頁、  「大阪学校巡回映画連盟」『映画教育』1928年10月号、30頁、  「学校映画会めぐり(二) 天王寺第五小学校」『映画教育』1928年11月号、22頁、  「学校巡回映画連盟」『映画教育』1928年11月号、23頁、  「時報」『映画教育』1928年11月号、30-32頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1928年11月号、31頁、  「新作小型映画紹介」『映画教育』1928年12月号、18頁、  「学校巡回映画連盟」『映画教育』1928年12月号、19頁、  「時報」『映画教育』1928年12月号、30-33頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1928年12月号、  「大毎フィルム・ライブラリー 昭和三年後半期購入映画一覧」『映画教育』1929年1月号、  大貫三蔵「映画会を開くまでの用意」『映画教育』1929年1月号、37頁、  「時報」『映画教育』1929年1月号、38-41頁、  「時報」『映画教育』1929年2月号、32-34頁、  「第一回全国活映教育大会記」『映画教育』1929年3月号、8-19頁、  「時報」『映画教育』1929年3月号、29-32頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1929年4月号、  叶忠司「学校映画説明一ヶ年の所感」1929年6月号、23-24頁、  「時報」『映画教育』1929年7月号、28-29頁、  「最近教育映画目録」『映画教育』1929年8月号、32-35頁、  關猛「映写日記(続)」『映画教育』1929年11月号、8-9頁、  「時報」『映画教育』1929年12月号、29-30頁、  「学校巡回映画連盟だより」『映画教育』1929年12月号、33頁、  「昭和四年度 優秀学校映画推薦 第一回発表」『映画教育』1930年3月号、3頁、  「時報」『映画教育』1930年5月号、30-34頁、  「時報」『映画教育』1930年7月号、30-32頁、  「時報」『映画教育』1930年8月号、24-32頁、  「時報」『映画教育』1930年10月号、46-49頁、  「時報」『映画教育』1930年11月号、36-38頁、  田口修司「小型映画界」『日本映画事業総覧 昭和五年版』1930年、110-116頁、  「第七回開票愈々発表! 優秀映画投票白熱化 四月十五日得点」『小型映画』1931年5月号、32頁、  櫻井小学校『映画教育の理論と実際』駿々堂出版部、1929年、314-318頁、</p>	
16	<p>御国の為に(「日の丸は輝く」)</p>	サクラグラフ	木村白山	1928		<p>「小型新映画紹介」『映画教育』1931年4月号、29頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1931年4月号、  「堺市英彰小学校の小型映画視覚教育研究会」『映画教育』1932年9月号、42-44頁、</p>	
17	<p>日の丸は輝く 突撃</p>	白山漫画	木村白山	1928	玩具フィルム		

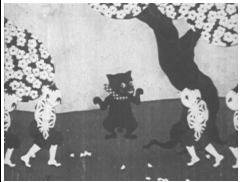





18	お伽噺 日本一桃太郎 	タカマサ映画社	山本早苗	1928		『新作映画の物語と解説 誌上家庭映画週間』『映画教育』1928年7月号、8-22頁、 『教育映画界消息』『映画教育』1928年7月号、31頁、 『最近教育映画目録』『映画教育』1929年8月号、32-35頁、 『時報』『映画教育』1939年4月号、57-60頁、 『時報』『映画教育』1940年6月号、22-25頁、 『時報』『映画教育』1940年7月号、54-60頁、 『16ミリ映画リスト サクラグラフ』『シネマレコード』1929年7月号、3頁、 『九月の教材と映画』『教材映画』1938年9月号、30-36頁、	
19	カチカチ山	幹彦映画研究所?		1928?	不詳。1928年の幹彦映画研究所の作品かもしれない。トーキー版の製作がいつかは要調査。	<広告>『キネマ旬報』1935年5月11日号、 『内務省検閲済新映画メートル数』『映画旬報』1941年10月11日号、52-53頁、 『カチカチ山』『映画教育』1940年1月号、50頁、 『カチカチ山』『映画教育』1941年7月号、51頁、 『時報』『映画教育』1941年11月号、55-59頁、 『時報』『映画教育』1941年12月号、52-59頁、 『カチカチ山』『映画と演芸』1934年9月号、 <広告>『小型映画』1929年11月号、 <広告>『小型映画』1930年1月号、 『東宝文化映画部』『文化映画』1940年3巻1号、75-80頁、	



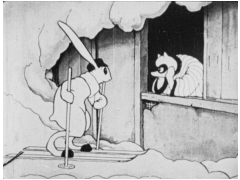

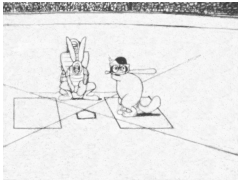

20	蛙は蛙	横浜シネマ商会	村田安司	1929		<p>「教育映画界消息」『映画教育』1928年12月号、33頁、  「時報」『映画教育』1929年2月号、32-34頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1929年2月号、  「第一回全国活映教育大会記」『映画教育』1929年3月号、8-19頁、  「漫画『蛙は蛙』」『映画教育』1929年4月号、32-33頁、  「教育映画界消息」『映画教育』1929年4月号、38-39頁、  「時報」『映画教育』1929年4月号、39頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1929年4月号、  「学校巡回映画連盟近況」『映画教育』1929年5月号、27頁、  「学校巡回映画連盟近況」『映画教育』1929年6月号、28頁、  「学校巡回映画連盟だより」『映画教育』1929年8月号、38頁、  「大毎フィルム・ライブラリー 昭和四年前半期購入映画一覧」『映画教育』  1929年9月号、  「わが国最初の映画教育夏期大学」『映画教育』1929年9月号、6-9頁、  關猛「映写日記」『映画教育』1929年10月号、10-11頁、  「小型新映画紹介」『映画教育』1929年10月号、25頁、  「時報」『映画教育』1929年10月号、30-31頁、  關猛「映写日記(続)」1929年11月号、8-9頁、  「時報」『映画教育』1929年11月号、29-30頁、  「時報」『映画教育』1930年2月号、30-34頁、  「昭和四年度 優秀学校映画推薦 第一回発表」『映画教育』1930年3月号、3  頁、  「昭和四年優秀学校映画を推薦す」『映画教育』1930年4月号、6-7頁、  「時報」『映画教育』1930年4月号、32-36頁、  「時報」『映画教育』1930年6月号、26-32頁、  「時報」『映画教育』1930年8月号、24-32頁、  「時報」『映画教育』1931年1月号、38-44頁、  「活映教育界時報」『映画教育』1931年8月号、38-46頁、  「活映教育界時報」『映画教育』1932年1月号、45-50頁、  「文部省推薦映画」『文部省教育映画時報』1929年1号、26-27頁、  「優良映画賞牌交付」『文部省教育映画時報』1931年8号、46頁、  森田篤慶「二月の教材と映画」1938年2月号、35-39頁、  「一月の教材と映画」『教材映画』1939年1月号、20-25頁、  「五月の教材と映画」『教材映画』1939年5月号、32-34頁、  「ライブラリタイムス」『教材映画』1940年4月号、35頁、  文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第  一集』文部省、1949年、66頁、</p>	
----	-----	---------	------	------	--	---	---


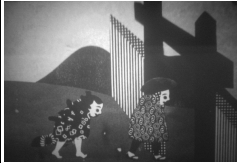








21	<p>太郎さんの汽車</p> 	横浜シネマ商会	村田安司	1929	<p>オリジナル版は巻頭とラストに実写映像が入る。巻頭は会社帰りの父親が玩具店で買ってきたレール付きの汽車を抱いて少年が眠りにつく。夢でアニメの場面。アニメが終わり、実写で朝を迎える場面あり。</p>	<p>『教育映画界消息』『映画教育』1929年4月号、38-39頁、  『教育映画界消息』『映画教育』1929年5月号、27-28頁、  『学校巡回映画連盟近況』『映画教育』1929年6月号、28頁、  『人事往来(五月)』『映画教育』1929年6月号、29頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1929年6月号、  『太郎さんの汽車』『映画教育』1929年7月号、22頁、  『学校巡回映画連盟だより』『映画教育』1929年7月号、31頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1929年7月号、  『時報』『映画教育』1929年8月号、36頁、  『学校巡回映画連盟だより』『映画教育』1929年8月号、38頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1929年8月号、  『大毎フィルム・ライブラリー 昭和四年前半期購入映画一覧』『映画教育』1929年9月号、  『時報』『映画教育』1929年9月号、28頁、  『学校巡回映画連盟だより』『映画教育』1929年10月号、31頁、  關猛『映写日記(続)』『映画教育』1929年11月号、8-9頁、  『時報』『映画教育』1929年11月号、29-30頁、  『学校巡回映画連盟だより』『映画教育』1929年11月号、31-32頁、  『学校巡回映画連盟だより』『映画教育』1929年12月号、33頁、  『時報』『映画教育』1930年1月号、37-40頁、  『時報』『映画教育』1930年2月号、30-34頁、  『時報』『映画教育』1930年3月号、34-37頁、  『時報』『映画教育』1930年5月号、30-34頁、  『時報』『映画教育』1930年6月号、26-32頁、  『時報』『映画教育』1930年8月号、24-32頁、  『時報』『映画教育』1931年1月号、38-44頁、  『活映教育界時報』『活映』1933年4月号、55-60頁、  『活映』1933年5月号、50-54頁、  『活映教育界時報』『活映』1933年8月号、44-51頁、  稲田達雄『横浜市の映画教育』『映画教育』1937年8月号、18-23頁、  森田篤慶『青森県の講堂映画会を観る』『映画教育』1938年12月号、42-47頁、  『時報』『映画教育』1939年1月号、61-62頁、  中村正己『映画による青年学校職業科指導案』『映画教育』1939年4月号、45-46頁、  『時報』『映画教育』1939年12月号、54-57頁、  『十月の教材と映画』『教材映画』1938年10月号、28-32頁、  『十一月の教材と映画』『教材映画』1938年11月号、20-25頁、  『十月・十一月 教材と映画』『教材映画』1939年10月号、40-48頁、</p>	
----	--	---------	------	------	--	--	---

22	<p>瘤取り</p> 	横浜シネマ商会	村田安司	1929	夜間シーンをシルエットで表現したのが評価された。	<p>&lt;広告&gt; 『映画教育』1929年9月号,      &lt;広告&gt; 『映画教育』1929年10月号,      &lt;広告&gt; 『映画教育』1929年11月号,      『漫画『瘤取り』』 『映画教育』1929年11月号、23頁,      『学校巡回映画連盟だより』 『映画教育』1929年11月号、31-32頁,      『学校映画研究』 『映画教育』1929年12月号、20-21頁,      『学校巡回映画連盟だより』 『映画教育』1929年12月号、33頁,      『時報』 『映画教育』1930年1月号、37-40頁,      『大毎フィルム・ライブラリー時報(第二号)』 『映画教育』1930年2月号、      (一) - (三) 頁,      『時報』 『映画教育』1930年2月号、30-34頁,      『小型新映画紹介』 『映画教育』1930年3月号、27頁,      永田敏吉田賢一・叶忠司・稲田達雄「映画効果の考察」 『映画教育』1930年3月      号、30-31,33頁,      『時報』 『映画教育』1930年3月号、34-37頁,      『時報』 『映画教育』1930年4月号、32-36頁,      『大毎フィルム・ライブラリー時報(第三号)』 『映画教育』1930年5月号、      (一) 頁,      『時報』 『映画教育』1930年5月号、30-34頁,      『時報』 『映画教育』1930年6月号、26-32頁,      『時報』 『映画教育』1930年8月号、24-32頁,      『時報』 『映画教育』1930年10月号、46-49頁,      『時報』 『映画教育』1931年1月号、38-44頁,      『活映教育界時報』 『映画教育』1931年10月号、38-47頁,      『活映教育界時報』 『活映』1933年2月号、51-56頁,      &lt;広告&gt; 『小型映画』1930年2月号,      『一月の教材と映画』 『教材映画』1939年1月号、20-25頁,      『文化映画輸出状況一覧表 昭和十五年度』 『文化映画』1940年3巻11号、36      -40頁,</p>	
----	--	---------	------	------	--------------------------	---	---

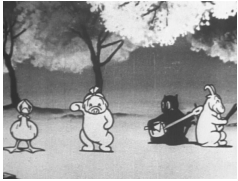

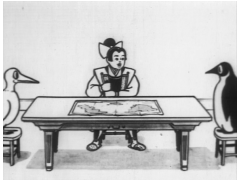

23	<p>黒ニャゴ</p> 	千代紙映画社	大藤信郎	1929	<p>児童唱歌映画。大藤信郎のレコードトーキー第一作。ビクターレコード「黒ニャゴ」50821に同期。作曲：佐々紅華、作詞：時雨音羽、歌：平井英子。</p>	<p>「漫画トオキイ「黒ニャゴ」完成」『キネマ旬報』1930年5月1日号、12頁、  「小石川区小学校をトオキイの巡回」『キネマ旬報』1930年6月11日号、11頁、  「小型映画欄」『キネマ旬報』1930年6月11日号、48頁、  「小型映画欄」『キネマ旬報』1930年9月11日号、52頁、  「小型映画欄」『キネマ旬報』1931年3月11日号、83頁、  「千代紙細工トーキー『黒ニャゴ』」『映画教育』1930年1月号、30頁、  「教育映画界消息」『映画教育』1930年6月号、32頁、  &lt;広告&gt;『小型映画』1930年6月号、  「小型新映画紹介」『小型映画』1930年6月号、  「本邦ニュース」『小型映画』1930年6月号、42頁、  「プロダクション通信」『小型映画』1930年6月号、43頁、  &lt;広告&gt;『小型映画』1930年7月号、  「家庭トーキー」『小型映画』1930年7月号、  内藤友彌「新作十六ミリ映画展望」『小型映画』1930年7月号、42-45頁、  「東京映画小劇場の第六回試写会」『小型映画』1930年7月号、54頁、  「本誌後援十字屋小型映画部の新作品試写会」『小型映画』1930年7月号、55頁、  &lt;広告&gt;『小型映画』1930年12月号、  佐藤秀雄「何が一九三〇年をそうさせたか」『小型映画』1931年1月号、99-102頁、  「第七回開票愈々発表！優秀映画投票白熱化 四月十五日得点」1931年5月号、32頁、  &lt;広告&gt;『ベビーシネマ』1930年5月号、24頁、  「パテートキー 黒ニャゴのかけ方」『ベビーシネマ』1930年6月号、65頁、  「誌上マーケット及紹介」『ベビーシネマ』1930年8月号、74頁、  「レポート」『ベビーシネマ』1930年10月号、60頁、  &lt;広告&gt;『アマチュア映画』1932年1月号、7頁、</p>	
24	<p>忍術チビ助</p>		木村白山	1929	玩具フィルム		
25	<p>頓智奇珍 漫遊記 團子串助 漫遊記</p> 		宮下万蔵	1929	<p>原作漫画：宮尾しげを 画：宮下万蔵 番号：T.35 レコード 團子串助漫遊記 ポリドールレコード899-Aに同期。</p>		
26	<p>日本マンガ 太郎さんの冒険撮影</p>	タカマサ映画社	相原隆昌、山本早苗	1929			

27	スクリーンミュージック 国歌 君が代 	横浜シネマ商会	村田安司	1930	1929年8月29日に公開された米アニメ『蛍の光』“Ye Olden Melodies”（マックス・フライシャー制作のスクリーン・ソング・シリーズ）で五線譜の上を白い玉が音階をたどって動く。これを真似して製作し「スクリーンミュージック」とPRした。	<広告>『映画教育』1930年2月号、 <広告>『映画教育』1930年7月号、 『影絵映画『国家君が代』』『映画教育』1931年3月号、36頁、	
28	おいらのスキー 	横浜シネマ商会	村田安司	1930		<広告>『キネマ旬報』1930年7月21日号、19頁、 <広告>『映画教育』1930年3月号、 <広告>『映画教育』1930年4月号、 『『おい等のスキー』』『映画教育』1930年4月号、27頁、 『大冨フィルム・ライブラリー時報（第三号）』『映画教育』1930年5月号、 （一）頁、 『学校映画解説資料』『映画教育』1930年5月号、26-29頁、 『時報』『映画教育』1930年5月号、30-34頁、 <広告>『映画教育』1930年7月号、 『教育映画界消息』『映画教育』1930年8月号、22頁、 『時報』『映画教育』1930年8月号、24-32頁、 『第二回活映教育夏季講習概況』『映画教育』1930年9月号、30-31頁、 『時報』『映画教育』1930年11月号、36-38頁、 『時報』『映画教育』1930年12月号、36-40頁、 『時報』『映画教育』1931年1月号、38-44頁、 『活映教育界時報』『映画教育』1931年10月号、38-47頁、 『活映教育界時報』『映画教育』1932年1月号、45-50頁、 『活映教育界時報』『活映』1933年3月号、49-54頁、 大野静「女学生に興行映画を観せた体験など」『映画教育』1934年6月号、42-49頁、 『時報』『映画教育』1939年1月号、61-62頁、	
29	おい等の野球 	横浜シネマ商会	村田安司	1930		<広告>『キネマ旬報』1930年7月21日号、19頁、 『映画教育グラフィック』『映画教育』1930年10月号、6頁、 『時報』『映画教育』1930年11月号、36-38頁、 『時報』『映画教育』1930年12月号、36-40頁、 『時報』『映画教育』1931年3月号、39-46頁、 大野静「女学生に興行映画を観せた体験など」『映画教育』1934年6月号、42-49頁、	



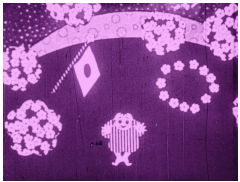





30	鳥獣合戦		村田安司	1930	玩具フィルム 作品同定『かうもり』	<p>『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年1月1日号、120頁、          &lt;広告&gt;『映画教育』1930年11月号、          &lt;広告&gt;『映画教育』1930年12月号、          &lt;広告&gt;『映画教育』1931年1月号、          『昭和六年二月 学校巡回映画』『映画教育』1931年2月号、34-35頁、          『時報』『映画教育』1931年2月号、37-42頁、          &lt;広告&gt;『映画教育』1931年2月号、          『三月の学校巡回映画と資料』『映画教育』1931年3月号、32頁、          『漫画『かうもり』』『映画教育』1931年3月号、36頁、          『時報』『映画教育』1931年4月号、37-44頁、          『活映教育界時報』『映画教育』1932年1月号、45-50頁、          『活映教育界時報』『映画教育』1932年4月号、47-50頁、          『昭和六年度 優秀教育フィルム推薦』『映画教育』1932年5月号、12-13頁、          『全九州活映教育大会記』『映画教育』1932年11月号、12-16頁、          『活映教育界時報』『映画教育』1932年12月号、49-54頁、          &lt;広告&gt;『小型映画』1930年12月号、          『漫画『かうもり』』1931年1月号、68頁、          『優秀教育フィルム推薦』『アマチュア映画』1932年6月号、391頁、</p>	
31	お関所 	千代紙映画社	大藤信郎	1930		<p>『千代紙映画にサウンドを附す』『キネマ旬報』1930年4月21日号、13頁、          『『お関所』』『キネマ旬報』1930年6月1日号、74頁、          『小型映画欄』『キネマ旬報』1930年6月11日号、48頁、          友成用三『日本トーキー録音余談』『キネマ旬報』1930年6月21日号、45頁、          『昭和五年度の日本映画』『キネマ旬報』1931年1月1日号、249頁、          『昭和五年度優秀映画投票総得点発表』『キネマ旬報』1931年2月11日号、74-75頁          『千代紙細工トーキー映画『お関所』』『映画教育』1930年7月号、6-7頁、          『本邦映画界回顧』『国際映画年鑑 昭和九年版』1934年、33-96頁、          『『お関所』』『映画評論』1930年7月号、87頁、          寺崎廣載『日本製トーキーに就いて』『映画評論』1930年11月号、53-55頁、          大塚恭一『日本映画とトーキー』『映画評論』1931年10月号、104-107頁、          『『お関所』』『小型映画』1930年7月号、40頁、          『今週の映画』『週刊キネマガイド』1930年第1号、4頁、</p>	
32	煙突屋ペロー	京都童映社	田中喜次	1930/1987	<p>戦前のプロキノ（プロレタリア映画同盟）の委託で制作した作品。しかし、官憲の弾圧で作品はカットされたが、1987年10月に欠落していたラスト1/3を影絵風にリメイクして公開。アニメ制作はグループタック。当時のスタッフが監修。          オリジナル=1930年2月完成。公開年月日：1930年5月31日（東京・読売講堂）</p>	<p>&lt;広告&gt;『キネマ旬報』1930年6月11日号、104頁、          『小型映画欄』『キネマ旬報』1930年9月11日号、52頁、          佐々木孝丸『左翼映画の将来』『キネマ旬報』1931年1月1日号、92-93頁、          『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年2月1日号、64頁、          『影絵映画『煙突屋ペロー』の一場面』『映画教育』1930年9月号、表紙、          『新作影絵映画『煙突屋ペロー』』『映画教育』1930年9月号、7頁、          &lt;広告&gt;『映画教育』1930年10月号、43頁、          松崎啓次『煙突屋ペロー』『新興映画』1930年6月号、18-19頁、          『公開闘争の記録』『プロレタリア映画（『新興映画』改題）』1930年7・8月合併号、54-57頁、          『巡回映写隊が組織されたぞ！』『プロレタリア映画（『新興映画』改題）』1930年7・8月合併号、73-73頁、          山田清三郎『プロキノのために—ニュースと絵解きと』『プロレタリア映画（『新興映画』改題）』1930年9月号、18-20頁、          西村正美『小型映画：歴史と技術』四海書房、1941年、184-185頁、</p>	





33	<p>村祭</p> 	千代紙映画社	大藤信郎	1930	<p>ビクターレコード51120-Aの文部省唱歌「村祭」（唄：平井英子）に同期。スクリーン動画に歌詞が出る。これはフラッシャーのスクリーン・ソング・シリーズを真似たもの。</p>	<p>『小型映画欄』『キネマ旬報』1930年10月21日号、46頁、  『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年2月1日号、64頁、  『映画教育グラフィック』『映画教育』1930年10月号、7頁、  『千代紙細工児童映画『村祭り』』『映画教育』1930年10月号、13頁、  『小型新映画紹介』『映画教育』1931年1月号、24頁、  &lt;広告&gt;『小型映画』1930年10月号、  『お祭り』『小型映画』1930年11月号、51-52頁、  &lt;広告&gt;『小型映画』1930年11月号、  &lt;広告&gt;『小型映画』1930年12月号、  佐藤秀雄「何が一九三〇年をそうさせたか」『小型映画』1931年1月号、99-102頁、  『第七回開票愈々発表！優秀映画投票白熱化 四月十五日得点』『小型映画』1931年5月号、32頁、  &lt;広告&gt;『アマチュア映画』1932年1月号、7頁、</p>	
34	<p>漫画 ちゃん切れ蛇</p> 	スミカズ映画創作社	幸内純一	1930		<p>&lt;広告&gt;『キネマ旬報』1931年1月11日号、80頁、  『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年2月11日号、109頁、  『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年2月21日号、71頁、  &lt;広告&gt;『キネマ旬報』1931年4月1日号、111頁、  水島爾保布「漫画映画礼讃」『映画教育』1930年12月号、20頁、  前川千帆「『ちゃん切れ蛇』について」『映画教育』1930年12月号、20-21頁、  『漫画『ちゃん切れ蛇』』『映画教育』1930年12月号、35頁、  『時報』『映画教育』1930年12月号、36-40頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1930年12月号、  『時報』『映画教育』1931年1月号、38-44頁、  『教育映画界消息』『映画教育』1931年3月号、46頁、  『小型新映画紹介』『映画教育』1931年4月号、29頁、  『活映教育界時報』『映画教育』1931年12月号、40-48頁、  『活映教育界時報』『映画教育』1932年2月号、42-49頁、  『ちゃん切れ蛇』『映画と演芸』1930年11月号、32頁、  『君が代』『ちゃん切れ蛇』『小型映画』1931年3月号、  『君が代』『ちゃん切れ蛇』『小型映画』1931年3月号、47頁、</p>	

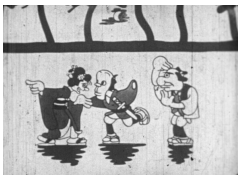




35	<p>猿正宗</p> 	横浜シネマ商会	村田安司	1930		<p>『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年5月1日号、79頁、  「文部省の教化用映画内定」『映画旬報』1942年6月21日号、27頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1931年3月号、  「昭和六年四月 学校巡回映画」『映画教育』1931年4月号、34-35頁、  「時報」『映画教育』1931年4月号、37-44頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1931年4月号、  「小型新映画紹介」『映画教育』1931年5月号、19頁、  「五月の学校巡回映画」『映画教育』1931年5月号、29頁、  「活映教育界時報」『映画教育』1932年4月号、47-50頁、  「昭和六年度 優秀教育フィルム推薦」『映画教育』1932年5月号、12-13頁、  「活映教育界時報」『映画教育』1932年11月号、50-52頁、  「時報」『映画教育』1937年1月号、55頁、  「時報」『映画教育』1939年8月号、55-56頁、  「文部省検定・選定映画(二)」『映画教育』1942年5月号、50-51頁、  &lt;広告&gt;『小型映画』1931年5月号、  「プロダクション通信」『小型映画』1931年5月号、33頁、  「優秀教育フィルム推薦」『アマチュア映画』1932年6月号、391頁、  吉田達「尋二修身「恩を忘れるな」の指導案」『教材映画(『十六ミリ映画教育』改題)』1938年1月号、26-33頁、  「十二月の教材と映画」『教材映画』1938年12月号、15-19頁、  「七月の教材と映画」『教材映画』1939年7月号、24-27頁、  「十二月の教材と映画」『教材映画』1939年11月号、49-52頁、  鈴木喜代松「映画教育論」『四海書房』1941年152-154頁</p>	
36	<p>電信・電鈴・電話</p> 	横浜シネマ商会	村田安司	1931	<p>国立映画アーカイブの「日本アニメーション映画クラシックス」に上がっているもの(プラネット映画資料図書館所蔵16mmポジ)とタイトルのクレジットなどが異なる版あり。</p>	<p>「時報」『映画教育』1931年1月号、38-44頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1931年9月号、  「『電信、電話、電鈴』」『映画教育』1931年10月号、33頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1931年10月号、  &lt;広告&gt;『映画教育』1931年10月号、  「活映教育を高唱して台湾本島を縦断」『映画教育』1931年11月号、10-13頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1931年11月号、  &lt;広告&gt;『映画教育』1931年12月号、  「活映教育界時報」『映画教育』1932年2月号、42-49頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1932年4月号、  「十二月の教材フィルム」『活映』1933年11月号、42頁、  「一月の教材フィルム」『活映』1933年12月号、34頁、  「十二月の教材映画」『映画教育』1935年12月号、46-47頁、  「二月の教材映画」『映画教育』1936年2月号、48-49頁、</p>	



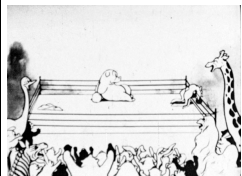


37	レビュー春 	横浜シネマ商会	村田安司	1931	1931年6月発売	「アマチュア映画」『キネマ旬報』1936年7月11日号、84頁、 「小型新映画目録」『映画教育』1931年6月号、16頁、 <広告>『映画教育』1931年6月号、 <広告>『映画教育』1931年8月号、 「フィルム・ライブラリー時報 第四号」『映画教育』1931年9月号、 (三)、 水野新幸「台湾活映行脚(一)」『映画教育』1931年11月号、8-9頁、 「活映教育を高唱して台湾本島を縦断」『映画教育』1931年11月号、10-13頁、 「昭和六年十一月の学校巡回映画」『映画教育』1931年11月号、38頁、 「大毎フィルム・ライブラリー優秀教育映画 台湾巡回公開日誌」『映画教育』1931年11月号、42頁、 服部栄「今月の映画教育経営」『教材映画』1938年4月号、25-29頁、 「四月の教材と映画」『教材映画』1939年4月号、22-25頁、 <広告>『小型映画』1931年5月号、	
38	空の桃太郎 	横浜シネマ商会	村田安司	1931		「アマチュア映画」『キネマ旬報』1936年6月11日号、78頁、 「横浜シネマ作品『空の桃太郎』より」『映画教育』1931年11月号、表紙、 「グラフィック・セクション」『映画教育』1931年11月号、4頁、 「『空の桃太郎』」『映画教育』1931年11月号、37頁、 <広告>『映画教育』1931年11月号、 <広告>『映画教育』1931年12月号、 「小型フィルム新作」『映画教育』1932年1月号、30頁、 「活映教育界時報」『映画教育』1932年1月号、45-50頁、 「活映教育界時報」『映画教育』1932年2月号、42-49頁、 「昭和七年三月 学校巡回映画」『映画教育』1932年3月号、36頁、 「活映教育界時報」『映画教育』1932年3月号、39-48頁、 「昭和七年四月 学校巡回映画資料」『映画教育』1932年4月号、44頁、 「昭和七年度優秀教育フィルム推薦」『活映』1933年5月号、30-31頁、 小林参謀、岡田大尉他「新京活映座談会記」『活映』1933年10月号、23-25頁、 <広告>『映画教育』1936年6月号、 <広告>『映画教育』1936年8月号、 <広告>『映画教育』1936年10月号、 <広告>『映画教育』1936年12月号、 「昭和十八年度定期配給映画」『映画教育』1944年1・2月合併号、56頁、 「内務省検閲各官庁公共団体申請映画」『日本映画』1936年7月号、94-96頁、 「内務省検閲輸出映画」『日本映画』1936年9月号、103-104頁、 「九月の教材と映画」『教材映画』1939年9月号、18-22頁、 「満映開発課巡回映写班 七月中巡映実施報告」『文化映画』1939年2巻8号、39頁、	

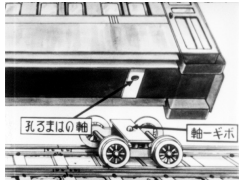

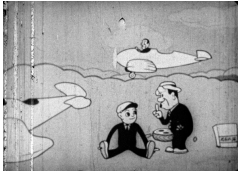





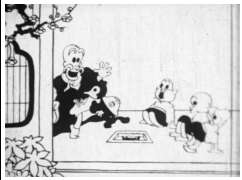

39	国歌 君が代 	千代紙映画社	大藤信郎	1931	コロムビアレコード A-18 (32999) に同期。	『小型映画欄』『キネマ旬報』1930年6月1日号、54頁、 『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年3月21日号、76頁、 <広告>『映画教育』1930年2月号、 <広告>『映画教育』1930年7月号、 『影絵映画『国家君が代』』『映画教育』1931年3月号、36頁、 『教育映画界消息』『映画教育』1931年3月号、46頁、 『小型新映画紹介』『映画教育』1931年5月号、19頁、 『堺市英彰小学校の小型映画視覚教育研究会』『映画教育』1932年9月号、 42-44頁、 『『君が代』『ちよん切れ蛇』』『小型映画』1931年3月号、 『『君が代』『ちよん切れ蛇』』『小型映画』1931年3月号、47頁、 <広告>『小型映画』1931年4月号、	
40	春の唄 	千代紙映画社	大藤信郎	1931	大阪松竹歌劇団の「春のおどり」のテーマソング「春の唄」のアニメ化。テーマソングの作詞は岸本水府、作曲は松本四良。コロムビアレコード「春の唄」25819-Aに同期。	友成用三「日本トーキー録音余談」『キネマ旬報』1930年6月21日号、45頁、 『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年4月1日号、110頁、 『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年5月11日号、86頁、 『『春の唄』『健康と美』』『小型映画』1931年5月号、 『プロダクション通信』『小型映画』1931年5月号、33頁、 <広告>『小型映画』1931年6月号、	
41	鼠の留守番 	大石光彩映画社	大石郁雄	1931	配給：伴野文三郎商店。歌手は平井英子。番号：T.8 ビクターレコード 60855-Bに同期。	『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年4月1日号、112頁、 『アマチュア映画』『キネマ旬報』1936年2月1日号、110頁、 『小型新映画目録』『映画教育』1931年6月号、16頁、 『『鼠の留守番』』『小型映画』1931年4月号、73頁、	
42	漫画 あめやたぬぎ 	十字屋小型映画部	宮下万蔵	1931	マーヴェルグラフ。『漫画 あめやたぬぎ』と『漫画トーキー あめや狸』の二本一組。ビクターレコード50715-A・Bに同期。	『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年3月21日号、76頁、 『小型映画欄』『キネマ旬報』1931年10月尾21日号、47頁、 <広告>『キネマ旬報』1931年10月21日号、47頁、 <広告>『アマチュア映画』1932年1月号、7頁、 『プロダクション通信』『小型映画』1931年5月号、33頁、	

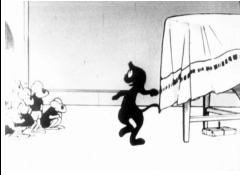




43	児童物語 サルカニ合戦 第一巻	十字屋小型映画部	宮下万蔵	1931	マーヴェルグラフ。オリエンレコード-60345-A・Bに同期。	<p>「小型映画欄」『キネマ旬報』1931年3月21日号、76頁、</p> <p>「小型映画欄」『キネマ旬報』1931年4月11日号、68頁、</p> <p>&lt;広告&gt;『映画教育』1928年9月号、</p> <p>&lt;広告&gt;『映画教育』1928年12月号、</p> <p>「新作小型映画紹介」『映画教育』1929年2月号、32頁、</p> <p>&lt;広告&gt;『映画教育』1929年4月号、</p> <p>&lt;広告&gt;『映画教育』1929年7月号、</p> <p>「最近教育映画目録」『映画教育』1929年8月号、32-35頁、</p> <p>「時報」『映画教育』1930年9月号、32-34頁、</p> <p>「十二月の教材フィルム」『活映』1933年11月号、42頁、</p> <p>「十月の教材映画」『映画教育』1935年10月号、54頁、</p> <p>「時報」『映画教育』1938年8月号、56-58頁、</p> <p>「大毎東日学校巡回映画連盟加盟団体紹介」『映画教育』1939年1月号、42-46頁、</p> <p>「時報」『映画教育』1939年9月号、59頁、</p> <p>「時報」『映画教育』1939年10月号、54-58頁、</p> <p>「時報」『映画教育』1939年11月号、54-59頁、</p> <p>「大毎東日学校巡回映画連盟定期配給プログラム」『映画教育』1939年12月号、45頁、</p> <p>「時報」『映画教育』1939年12月号、54-57頁、</p> <p>「東日児童文化劇場だより」『映画教育』1940年1月号、28頁、</p> <p>「学校巡回映画に対する感想」『映画教育』1940年1月号、48-49頁、</p> <p>「学校巡回映画に対する感想」『映画教育』1940年2月号、42-47頁、</p> <p>戸田隆雄「漫画映画私感」『映画教育』1940年4月号、22-23頁、</p> <p>「文部省検定・選定映画(二)」『映画教育』1942年5月号、50-51頁、</p> <p>&lt;広告&gt;『映画教育』1943年1月号、</p> <p>「16ミリ映画リスト サクラグラフ」『シネマコード』1929年7月号、3頁、</p> <p>「『猿蟹合戦』『魔法の時計』」『小型映画』1931年4月号、</p> <p>&lt;広告&gt;『小型映画』1931年5月号、</p> <p>「十月の教材と映画」『教材映画』1938年10月号、28-32頁、</p> <p>「十月・十一月 教材と映画」『教材映画』1939年10月号、40-48頁、</p> <p>「文化映画輸出状況一覧表 昭和十五年度」『文化映画』1940年3巻11号、36-40頁、</p> <p>権田保之助「娯楽教育の研究」小学館、1943年、120頁、</p>	
44	おもちゃの汽車	伴野商店	西倉喜代次	1931	番号：T.28 ビクターレコード 51582-Bに同期。	<p>&lt;広告&gt;『小型映画』1931年6月号、</p> <p>「『おもちゃの汽車』」『アマチュア映画』1932年1月号、49頁、</p>	
45	童話 浦島太郎	伴野文三郎商店	宮下万蔵	1931	番号：T.13 ニットーレコード 3961-A・Bに同期。	<p>「小型映画欄」『キネマ旬報』1931年7月11日号、51頁、</p> <p>「『浦島太郎』」『映画教育』1929年5月号、21頁、</p> <p>下野宗逸「滋賀県大野の映画教育を観る」『映画教育』1935年7月号、24-27頁、</p>	
46	茶目子の一日	協力映画社	西倉喜代治	1931	ビクターレコード50681-A・B面に同期。歌は平井英子独唱。作詞作曲：佐々紅華、台詞：高井ルビーでオペレッタ調のアニメ。	<p>「堺市英彰小学校の小型映画視覚教育研究会」『映画教育』1932年9月号、42-44頁、</p> <p>藤井元了「映画に対する児童の志向」『映画教育』1935年5月号、40-44頁、</p> <p>「レコードによってシンクロナイズせる小型トーキーの出現」『小型映画』1930年7月号、55頁、</p> <p>「プロダクション通信」『小型映画』1931年5月号、33頁、</p> <p>&lt;広告&gt;『アマチュア映画』1932年1月号、7頁、</p>	

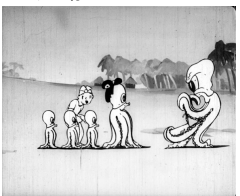

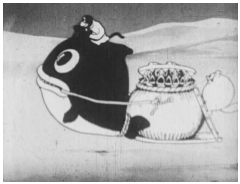





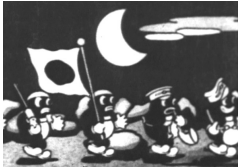


47	ヤジキタ 	伴野商店		1931	ビクターレコード 51887-Aに同期。		
48	漫画 お伽のお爺さん 	朝日	村田安司	1931	玩具フィルム。村田安司『タヌ吉のお話』1931から。	「アマチュア映画」『キネマ旬報』1939年8月11日号、60-62頁、 「昭和六年七月の学校巡回フィルム」『映画教育』1931年7月号、34-35頁、 「八月の学校巡回映画と資料」『映画教育』1931年8月号、34頁、 「活映教育界時報」『映画教育』1932年3月号、39-48頁、 「昭和六年度 優秀教育フィルム推薦」『映画教育』1932年5月号、12-13頁、 「時報」『映画教育』1941年7月号、52-59頁、 「表紙 『タヌ吉のお話』」『文部省教育映画時報』1931年5号、表紙、 「文部省製作活動写真フィルム目録」『文部省教育映画時報』1931年7号、57-62頁、 「文部省製作活動写真フィルム目録」『文部省教育映画時報』1934年13号、77-87頁、 「優秀教育フィルム推薦」『アマチュア映画』1932年6月号、391頁、 「貸与映画目録」『映画教育研究』1941年第17号、97.99.103頁、 文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第一集』文部省、1949年、66頁、	
49	海の桃太郎	横浜シネマ商会	村田安司	1932		「文部省の教化用映画内定」『映画旬報』1942年6月21日号、27頁、 「グラフィック・セクション」『映画教育』1932年1月号、5頁、 <広告>『映画教育』1932年1月号、9頁、 「小型フィルム新作」『映画教育』1932年1月号、30頁、 「『海の桃太郎』」『映画教育』1932年2月号、36-37頁、 <広告>『映画教育』1932年2月号、 <広告>『映画教育』1932年3月号、 「昭和七年四月 学校巡回映画資料」『映画教育』1932年4月号、44頁、 「活映教育界時報」『映画教育』1932年4月号、47-50頁、 「映画教育研究大会記」『映画教育』1932年6月号、12-18頁、 「活映教育界時報」『映画教育』1932年8月号、50-54頁、 「昭和七年度の優秀教育フィルム推薦」『活映』1933年6月号、20-21頁、 「時報」『映画教育』1934年11月号、36-39頁、 藤井元了「映画に対する児童の志向」『映画教育』1935年5月号、40-44頁、 鈴木喜代松「体験論に基く映画教育（其の二）」『映画教育』1935年10月号、30-33頁、 戸津川繁茂、難波護「納涼映画会と其の反省」『映画教育』1936年11月号、48-53頁、 「文部省検定・選定映画（二）」『映画教育』1942年5月号、50-51頁、 鈴木喜代松「日本教育映画の此の一年」『映画評論』1937年2月号、77-83頁、 <広告>『アマチュア映画』1932年3月号、137頁、 島崎清彦「文化映画」『アマチュア映画』1933年7月号、37頁、 「九月の教材と映画」『教材映画』1939年9月号、18-22頁、	

50	 <p>豚平と猿吉 猿吉は勝った</p>	横浜シネマ商会	村田安司	1932	16ミリ版は題名が『猿吉は勝った』、35ミリ版は『豚平と猿吉』。	<p>「内外短篇映画欄」『キネマ旬報』1932年7月1日号、19頁、  「豚平と猿吉」『映画教育』1932年4月号、39頁、  「映画教育研究大会記」『映画教育』1932年6月号、12-18頁、  「活映教育界時報」『活映』1933年7月号、48-54頁、  鈴木喜代松「体験論に基づく映画教育（其の二）」『映画教育』1935年10月号、30-33頁、  「女学校の講堂映画会調査 門司高等女学校の場合」『映画教育』1936年7月号、58-59頁、</p>	
51	 <p>体育デー</p>	横浜シネマ商会	村田安司	1932		<p>&lt;広告&gt;『映画教育』1932年7月号、  &lt;広告&gt;『映画教育』1932年8月号、9頁、  「『体育デー』」『映画教育』1932年8月号、48頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1932年9月号、  「活映教育界時報」『映画教育』1932年9月号、51-54頁、  「大毎フィルム・ライブラリー所蔵映画目録」『活映』1933年12月号、39-40頁、  「三月の教材映画」『映画教育』1936年3月号、54-55頁、  加藤禎三「漫画フィルムの悩み」『アマチュア映画』1932年7月号、33.48頁、  「『体育デー』」『アマチュア映画』1932年7月号、42頁、  服部栄「今月の映画教育経営」『教材映画』1938年4月号、25-29頁、  「四月の教材と映画」『教材映画』1939年4月号、22-25頁、  「ライブラリタイムス」『教材映画』1940年3月号、23-24頁、</p>	
52	<p>あひるの子</p>	横浜シネマ商会	脚色：青地忠三 作画：村田安司	1932		<p>「国民学校教科用映画発表」『映画旬報』1942年3月21日号、16頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1932年10月号、  「グラフィック・セクション」『映画教育』1932年11月号、  &lt;広告&gt;『映画教育』1932年11月号、  「十六ミリ映画彙報」『映画教育』1932年11月号、35頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1932年12月号、  「昭和七年度の優秀教育フィルム推薦」『活映』1933年6月号、20-21頁、  塚本弘「活映利用による児童の知能テスト」『活映』1933年8月号、28-29頁、  「活映教育界時報」『活映』1933年9月号、48-54頁、  喜岡正竹「一つの試案の実験三学年級方の指導—取材指導の場合—」『活映』1933年11月号、36-37.39頁、  「活映教育界時報」『活映』1933年12月号、51-56頁、  「大毎フィルム・ライブラリー所蔵映画目録」『活映』1933年12月号、39-40頁、  「大毎フィルム・ライブラリー新入庫映画目録」『映画教育』1934年5月号、60-61頁、  「時報」『映画教育』1934年11月号、36-39頁、  「時報」『映画教育』1935年2月号、26-28頁、  鈴木喜代松「体験論に基づく映画教育（其の二）」『映画教育』1935年10月号、30-33頁、  「時報」『映画教育』1935年12月号、53-56頁、  「時報」『映画教育』1937年8月号、58-60頁、  坂根実夫「映画学習の体験を語る（下）」『映画教育』1937年10月号、28-35頁、  下野宗逸「映画による劣等児指導の実際的研究」『映画教育』1938年4月号、46-49頁、</p>	



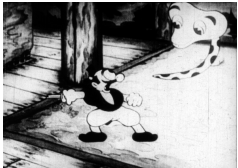


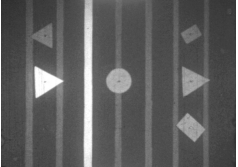





						<p>「時報」『映画教育』1938年9月号、61-62頁、  「時報」『映画教育』1939年4月号、57-60頁、  「文部省検定・選定映画（一）」『映画教育』1942年4月号、50-51頁、  「東京市国民学校関係係保有一六ミリ映画調査」『映画教育』1942年8月号、34-39頁、  鈴木喜代松「日本教育映画の此の一年」『映画評論』1937年2月号、77-83頁、  島崎清彦「文化映画」『アマチュア映画』1933年7月号、37頁、  下野宗逸「映画学習指導実録」『教材映画』1938年1月号、39-43頁、  長谷川和夫「三月の教材と映画」『教材映画』1938年3月号、42-46頁、  「三月の教材と映画」『教材映画』1939年3月号、18-21頁、  西村松雄「「あひるの子」と尋常一年生」『教材映画』1939年10月号、24-28頁、  「二月と三月の教材」『教材映画』1940年2月号、21頁、  「第一学期用十六ミリ学習映画」『教映ニュース』1937年第20号、14-20頁、  早瀬松蔵『映画教育の志向と実践』高踏社、1935年、36-41頁、  文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第一集』文部省、1949年、(3)頁、</p>	
53	<p>汽車の発達</p> 	横浜シネマ商会	村田安司	1932	<p>1932年当時の尋常小学校読本巻九「汽車の発達」を実写と図解アニメで制作したもの。指導：全日本活映教育研究会。</p>	<p>「グラフィック・セクション」『映画教育』1932年1月号、5頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1932年1月号、9頁、  「『汽車の発達』」『映画教育』1932年1月号、38頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1932年2月号、  &lt;広告&gt;『映画教育』1932年3月号、  「活映教育界時報」『映画教育』1932年5月号、  「活映教育界時報」『映画教育』1932年6月号、49-54頁、  &lt;広告&gt;『映画教育』1932年6月号、  「活映教育界時報」『映画教育』1932年7月号、50-54頁、  「第四回活映教育夏季講習会」『映画教育』1932年9月号、12-19頁、  「昭和七年度優秀教育フィルム推薦」『活映』1933年5月号、30-31頁、  「一月の教材映画」『映画教育』1936年1月号、50-51頁、  中村正己「映画による青年学校職業科指導案」『映画教育』1939年4月号、45-46頁、  &lt;広告&gt;『アマチュア映画』1932年3月号、137頁、  久米井束「国語教育における映画の必要」『教材映画』1938年11月号、26-29頁、  「二月の教材と映画」『教材映画』1939年2月号、24-27頁、</p>	
54	<p>漫画 大当り空の円タク</p> 	協力映画社	西倉喜代治	1932	協力映画製作社第七回作品。	<p>「愈々日本にも漫画トーキー」『キネマ旬報』1932年11月1日号、13頁、  「グラフィック・セクション」『映画教育』1932年9月号、  「大毎フィルム・ライブラリー新入庫映画目録」『映画教育』1934年5月号、60-61頁、</p>	







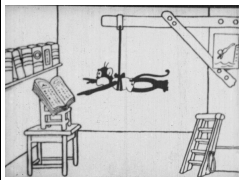



55	山小屋の夕べ 	大石光彩映画社	大石郁雄	1932	配給：伴野文三郎商店。太陽レコード 2106-B に同期。	「ホワイト・スクリーン」『アマチュア映画』1932年8月号、104頁、 <広告>『アマチュア映画』1932年9月号、172頁、	
56	文福茶釜 	伴野文三郎商店	大石郁雄	1932	ニットー・レコード 3918-A・Bに同期。	<広告>『キネマ旬報』1930年7月21日号、19頁、 「小型映画欄」『キネマ旬報』1931年5月11日号、86頁、 「内務省検閲済新映画メートル教」『映画旬報』1941年6月21日号、80頁、 「文部省の教化用映画内定」『映画旬報』1942年6月21日号、27頁、 「教育映画界消息」『映画教育』1928年4月号、30頁、 「新作映画の物語と解説 誌上家庭映画週間」『映画教育』1928年7月号、8- 22頁、 「教育映画界消息」『映画教育』1928年7月号、31頁、 「大毎フィルムライブラリー 昭和三年前半購入映画一覧」『映画教育』 1928年9月号、17頁、 <広告>『映画教育』1928年9月号、 「時報」『映画教育』1928年11月号、30-32頁、 「新作小型映画紹介」『映画教育』1928年12月号、18頁、 <広告>『映画教育』1928年12月号、 「時報」『映画教育』1929年3月号、29-32頁、 <広告>『映画教育』1929年4月号、 「最近教育映画目録」『映画教育』1929年8月号、32-35頁、 「大毎フィルム・ライブラリー時報（第二号）」『映画教育』1930年2月号、 (一) - (三) 頁、 「時報」『映画教育』1930年8月号、24-32頁、 「フィルム・ライブラリー時報 第四号」『映画教育』1931年9月号、(三) 頁、 「活映教育界時報」『映画教育』1931年9月号、40-47頁、 「全日本映画教育研究会 九州支部巡回映画会報告」『映画教育』1935年10月 号、29頁、 青戸要三「京都市の映画教育」『映画教育』1937年5月号、16-21頁、 「時報」『映画教育』1938年4月号、57頁、 「文部省検定・選定映画（二）」『映画教育』1942年5月号、50-51頁、 「『文福茶釜』」『映画と演芸』1928年8月号、22頁、 「企画月評」『日本映画』1939年11月号、110-112頁、 「16ミリ映画リスト サクラグラフ」『シネマレコード』1929年7月号、3 頁、 「プロダクション通信」『小型映画』1931年5月号、33頁、 <広告>『小型映画』1931年6月号、	

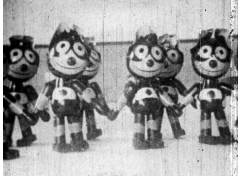


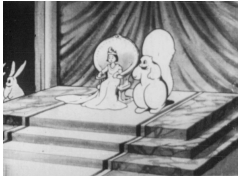



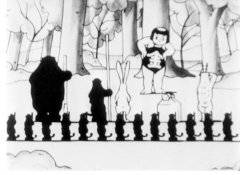

57	ニヤゴダンス 	横浜シネマ商会	村田安司	1932	サクラグラフ。レコードトーキー。	「小型映画欄」『キネマ旬報』1932年2月21日号、82頁、 <広告>『アマチュア映画』1932年3月号、137頁、 「『一寸法師』『ニヤゴダンス』『アマチュア映画』1932年3月号、181頁、	
58	ヴォルガの船唄 扇光楽 	OSAKA MORI BABY-CINEMA	森紅	1932	缶の裏に「映写の仕方」解説あり。音の同期について記載があり、もとはレコードトーキーとして作られた。		
59	いたづら狸 		村田安司	1933	不詳。『紙芝居 いたづら狸の巻』と同一作品か。	「新作紹介 『紙芝居 いたづら狸』」『活映』1933年8月号、51頁、 「大毎フィルム・ライブラリー所蔵映画目録」『活映』1933年12月号、39-40頁、 西村正美「ホワイト・スクリーン」『アマチュア映画』1933年4月号、227頁、 西村正美「ホワイト・スクリーン」『アマチュア映画』1933年5月号、264頁、	
60	のらくろ二等兵 教練の巻 	横浜シネマ商会	村田安司	1933	原作漫画：田河水泡。教練の巻と演習の巻の二本立て。分けて販売もされている。	<広告>『キネマ旬報』1939年2月21日号、 「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1941年9月21日号、63頁、 <広告>『活映』1933年6月号、 <広告>『活映』1933年7月号、 <広告>『活映』1933年8月号、 「新作紹介 『のらくろ二等兵』」『活映』1933年8月号、51頁、 「第五回活映教育夏季講習会記」『活映』1933年9月号、14-19頁、 <広告>『活映』1933年9月号、 「活映教育界時報」『活映』1933年10月号、46-54頁、 「大毎フィルム・ライブラリー所蔵映画目録」『活映』1933年12月号、39-40頁、 「大毎フィルム・ライブラリー新入庫映画目録」『映画教育』1934年5月号、60-61頁、 「時報」『映画教育』1940年10月号、53-59頁、 <広告>『アマチュア映画』1933年6月号、329頁、 西村正美「ホワイト・スクリーン」『アマチュア映画』1933年6月号、333頁、	

61	三公と蛸 	横浜シネマ商会	村田安司	1933	委託：通信省簡易保険局。缶表には「タコと三平」。		
62	お猿の大漁 	横浜シネマ商会	村田安司	1933	村田安司のトーキー第一作。音楽演奏はコロンビア・オーケストラで村田良造の指揮。47年の続編の『続く大漁』が日本映画社で制作されている。		
63	漫画 海底の暴君	横浜シネマ商会	村田安司	1933	『お猿の大漁』の玩具フィルム。		
64	ホームラン 	横浜シネマ商会	村田安司	1933			
65	日本漫画 ギャングの最後	政岡映画製作所	政岡憲三	1933	玩具フィルム。『ギャングと踊り子』のラスト部分。		
66	蛙三勇士 	千代紙映画社	大藤信郎	1933	「8ミリ文化映画普及會」のシール、「マツダ発声映画研究所（銀座）」のクレジットあり。		
67	特急艦隊	J・Oトーキー漫画部	中野孝夫、田中喜次、舟木俊一、永久博郎	1933	オモチャ箱シリーズ 第1作。タイトルが出ないので当初はJ.O.トーキーの「オモチャ箱」シリーズ第2作の『黒猫万歳』と思われていたが、第1作の『特急艦隊』と同定された。「日本アニメーション映画史」211頁の図版も『特急艦隊』の誤り。公開年月日：1934年4月22日（新世界日本倶楽部衛生劇場）、1934年6月15日（京都松竹座）		



68	発声漫画 かへる剣法		芦田巖	1933	玩具フィルム		
69	狐と狸の化かし合い 狐狸達引 動絵 (サイレント版)	P.C.L.漫画部	作画：大石郁雄、他	1933	フライシャー的なナンセンス・ギャグ・アニメの秀作。公開年月日：1933年12月31日 (東京・邦楽座)		
70	狐狸伊達引 (P.C.L.録音版) 	P.C.L.映画製作所	大石郁雄	1933	このバージョンは画が鮮明だが、トリミング位置が偏っている(足下が切れ気味)。『狐狸伊達引』は日本短編映画社扱い。		
71	動絵狐狸達引 (西川発声版)	P.C.L.漫画部	作画：大石郁雄、他	1933	このバージョンは戦後公開の西川発声版。サクラグラフィ配給。		
72	旋律 		森紅	1933	缶の裏に「映写の仕方」解説あり。レコードトーカー。		
73	無敵凹平の海賊退治 	レフシー		1933	紙フィルム。昭和8年8月1日印刷、8月8日発行。番号：1424		
74	たから箱 TREASURES CASE 	レフシー		1933	紙フィルム。昭和8年8月1日印刷、8月8日発行。番号：1512		

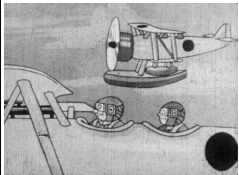


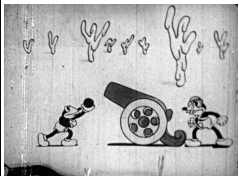





75	からすとみみづく CROW AND HORNED OWL 	レフシー		1933	紙フィルム。昭和8年8月1日印刷、8月8日発行。杉本五郎記述『映画をあつめて』に熊川正雄とあるが、本人否定。		
76	のらくろ肉弾戦 	レフシー		1933	紙フィルム。昭和8年10月1日印刷、10月7日発行。番号：1412		
77	漫画 七匹の小羊 	レフシー		1934	紙フィルム。昭和9年1月8日印刷、1月12日発行。番号：1418		
78	泳げや泳げ 		大石郁雄	1934以前	レフシー版（番号：1429）のタイトルは『泳げや つは者』（強者）。1934年にレフシーで販売しているのでそれ以前の作品。	森田篤慶「二月の教材と映画」『教育映画』1938年2月号、35-39頁、 「二月の教材と映画」『教育映画』1939年2月号、24-27頁、 「二月と三月の教材」『教育映画』1940年2月号、21頁、	
79	のらくろ伍長 	横浜シネマ商会	村田安司	1934	原作：田河水泡		

80	のらくろ二等兵（森紅作品） 		森紅	1930代	のらくろ（フェリックス？）の人形を使ったコマ撮り。		
81	千鳥の曲		森紅	1930代			
82	月の宮の王女様（サイレント版） 	横浜シネマ商会	村田安司	1934	切り紙アニメの名手だった村田安司の最高傑作と言われ、セルアニメに匹敵した作品だが、音声が入落。	高原勝千代「たのしき稔り-或る田舎校長の手記-」『映画教室』1948年1月号、16頁。	
83	月の宮の王女様（コロムビア・オーケストラ版）	横浜シネマ商会	村田安司	1934	音楽は杉田良造の編曲及び指揮でコロムビア・オーケストラが演奏。伊藤久男と村山雪子が唄った。解説は関谷五十二。		
84	新版 月の宮の王女様（西川発声版）	横浜シネマ商会	村田安司	1934	音楽：三木鶏郎とそのグループ 唄：神田千鶴子 オリジナルもトーキー版とサイレント版が存在したものと思われ、戦後の新版もトーキー版を再録音した版（今回の版）とサイレント版に音を付けたものがある。		
85	紙芝居 金太郎の巻（『漫画金太郎』の改編版？） 	横浜シネマ商会	村田安司	1934？	この作品はサクラグラフ版『漫画 紙芝居 金太郎の巻』（1934年）と同じものだが、途中に「漫画 金太郎 終」のタイトルがあることから、『漫画 紙芝居 いたづら狸の巻』（1933年）が『文福茶釜』（1928年）の改編版であるのと同様に、もとの『漫画 金太郎』の改編版かも知れない。ただ『漫画 金太郎』の製作年などは調査が必要。		

86	おい等の生命線	横浜シネマ商会	片岡芳太郎	1934	脚色：笹本喜太郎。『おい等の生命線』の作者は片岡芳太郎。村田安司が自筆作品リストに書いてしまっているので誤解を生んだ。サクラグラフ版『漫画 おい等の生命線』(200feet)のタイトルで確認。		
87	漫画、動物の運動会 水泳跳込 白熊 河馬	横浜シネマ商会	村田安司	1934	1934年の『体育デー』の再版。		
88	漫画 鼠と獅子	横浜シネマ商会	片岡芳太郎	1934	サクラグラフ。	文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第一集』文部省、1949年、67頁、	
89	元禄恋模様 三吉とおさよ	日本マンガフィルム研究所	瀬尾光世	1934			
90	茶釜音頭	政岡映画美術研究所	政岡憲三	1934	東京・時事新報社が募集した映画脚本の漫画の部で1等賞当選作をアニメ化したもの。公開は1935年。作画：熊川正雄、桑田良太郎、川島正義	黒井元治「我々はかく実行している」『映画教室』1949年9月号、19頁、	
91	森の野球団	政岡映画美術研究所	原田誠一	1934	オリジナル版は試合途中のベース上で狐と狸が化かし合いをやる。この場面が助長だったのか、この場面をカットして『森の野球団 姉妹篇 狸と狐の化け試合』の題名で9.5ミリ版が発表された。作画：熊川正雄、桑田良太郎、川島正義	黒井元治「我々はかく実行している」『映画教室』1949年9月号、19頁、	
92	ポン助の春 	P・C・L漫画部	大石郁雄	1934		文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第一集』文部省、1949年、67頁、	
93	ワニザメ ト シロウサギ 	オールキネマ社	大石郁雄	1934	玩具フィルム版(ライオン)もある。		
94	ガランドウの太鼓	SAKAMOTO PRODUCTION	坂本為之	1934			





95	海の水はなぜからい 	横浜シネマ商会	村田安司	1935	戦後サウンド版。巻末に実写の海が新しく？入っている。		 PUBLIC DOMAIN
96	漫画 證城寺の狸囃子 塙團右衛門	日本マンガフィルム研究所	片岡芳太郎	1935	原作、脚色：魔須田和光（和弘ではない） 作画、監督：片岡芳太郎（作画監督ではなく、作画と監督と思われる） 録音：NRT 日本ラヂオトーキー製作所 作曲、指揮：西垣鉄雄 ラベルには「塙團右衛門・化物退治」とあり。オリジナルはサイレント版で『塙團右衛門化物退治の巻』の題名で公開。1939年トーキー版で題名も改題しリメイクされた。	<広告>「十六回発声映画番組決定！」『映画教室』1947年6月号、23頁、	 COPYRIGHT UNDETERMINED
97	ターチャンの海底旅行	政岡映画美術研究所	政岡憲三	1935	作画：熊川正雄、桑田良太郎、川島正義、竹内幸人		 IN COPYRIGHT
98	忍術 火の玉小僧 江戸の巻 画部	日活京都撮影所漫画部	田中与志	1935	玩具フィルム。田中与志は田中喜次。		 COPYRIGHT UNDETERMINED
99	新版 居酒屋の一夜 	横浜シネマ商会	村田安司	1936?	1930年5月キネマ旬報創刊15周年に公募した「トーキー漫画ストーリー」の当選第1作を横浜シネマで制作。村田安司はこの作品を最後に横浜シネマを退社し、独立プロを設立。戦後のトーキー版だが音声欠落。"新版"は戦後のトーキー版でサクラグラフィ配給。		 PUBLIC DOMAIN
100	ちんころ平平玉手箱 	千代田映画社	大藤信郎	1936	"ちんころへいべい"とルビをふってある広告があった。		 PUBLIC DOMAIN
101	日の丸太郎 おばけ退治	三幸商会漫画部	鈴木宏昌	1936	別題で『古寺のお化け騒動』もあり(W8版、日本短編映画社扱い)。		 COPYRIGHT UNDETERMINED
102	マー坊の東京オリンピック大会	佐藤線映画製作所	佐藤吟次郎、千葉洋路	1936	タイトル欠落～題名判明 サイレント字幕版		 COPYRIGHT UNDETERMINED
103	漫画 月世界旅行	朝日	西倉喜代治	1936	『小兎の天空旅行』 玩具フィルム		 COPYRIGHT UNDETERMINED

104	鉤を失くした山彦		竹村猛児	1936	全日本パテーシネ協会主催第3回各支部連合9 ミリ半映画作品協議会 3等3席		
105	五匹の力（森の五匹の動物たち）	芦田漫画製作所	鈴木宏昌	1937			
106	白鼠物語り	三幸商會發聲漫画 研究所	鈴木宏昌	1937	録音：コーノ・トーン録音研究所 日本お伽教育漫画集 第壹篇 白鼠物語り 鈴木宏昌作品 製作：三幸商會發聲漫画研究所 作画と撮影： 鈴木宏昌、暮田博匡、松本衆司、福田里三郎	「各地の動き」『映画教室』1947年6月号、23頁、	
107	鼠と獅子 チュウ助の報恩	三幸発声漫画映画 研究所	鈴木宏昌	1937	世界教育お伽漫画シリーズ第三輯		
108	だんごの行方 	千代紙映画社	大藤信郎	1937			
109	海国太郎 新日本島万歳	三幸商會漫画部	鈴木宏昌	1937	作画：鈴木宏昌、暮田博匡、松本衆司、福田里三郎 公開年月日：1937年10月7日（京極劇場）		
110	マー坊の木下藤吉郎	佐藤線画製作所	佐藤吟次郎 (?)	1938		「マー坊の木下藤吉郎」『映画教育』1939年1月号、49-50頁、 「時報」『映画教育』1939年6月号、57・60・62頁、 「大毎東日学校巡回映画連盟加盟団体紹介 岐阜県映画教育連盟」『映画教育』1939年8月号、44頁、 「時報」『映画教育』1942年11月号、52-59頁、 「東日児童文化劇場だより」『映画教育』1943年2月号、26頁	
111	旅の一寸法師		竹村猛児	1938	パテーシネ1938.10に記載。竹村は現・東京港区青山の小児科医。	「全日本パテーシネ協会主催 第七回全日本九ミリ半映画作品競技会成績表」『パテーシネ』1940年4月号、114-117頁	
112	蜘蛛と頼光	T.K.S	竹村猛児	1938	缶ラベルNO.23とあり。内務省検閲印あり。TOPにクレジット「Australian Amatur Cine Society 1940 International Ten Best Competition AWASRDED HONOUR PRIZE」とある。		
113	べんけい対ウシワカ	日本映画科学研究所	政岡憲三	1939	公開年月日：1938年12月15日（松竹系）	「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1942年10月1日号、57頁、 「べんけい対ウシワカ」『映画教育』1939年11月号、50頁	

114	海の荒鷲 	千代紙映画社	大藤信郎	1939	スターリンや蒋介石夫婦、矢野機など、内容から判断して『海の荒鷲』（1939年、大藤信郎）と推定。	「アマチュア映画」『キネマ旬報』1939年3月11日号、80頁、 「海の荒鷲」『映画教育』1939年2月号、54頁	
115	マー坊の無敵海軍	佐藤映画製作所	佐藤吟次郎	1939		「時報」『映画教育』1939年4月号、57・60頁、 「時報」『映画教育』1939年6月号、57・60・62頁、 「時報」『映画教育』1940年12月号、50-59頁、 「第三回小学校巡映報告書」『教材映画』1940年6月号、16-20頁	
116	漫画 ピョン太郎従軍 			1939	EK作画（あるいはKE作画）の文字あり。映画保存協会小型映画部編「戦前小型映画集」（2010年2月）の「伴野商店9.5ミリ映画目録」（29頁）に特大缶映画（1巻約90m）、品番S-28に『ピョン太郎の従軍』（1巻）あり。		
117	のらくる軍曹 空襲の巻 			1939頃	玩具フィルム。1939年8月11日内務省検閲。		
118	カンガルーの誕生日	日本映画科学研究所	熊川正雄	1940	アメリカナイズされた作品。	西村正美『小型映画：歴史と技術』四海書房、1941年、286頁、 <広告>「カンガルーの誕生日」『映画旬報』1941年2月21日号、39頁、 「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1941年2月21日号、75-76頁、 福田達雄「児童教育映画について」『映画旬報』1941年8月11日号、32-33頁、 「カンガルーの誕生日」『映画教育』1941年3月号、51頁、 <広告>「カンガルーの誕生日」『映画教育』1941年5月号、 <広告>「カンガルーの誕生日」『映画教育』1941年9月号、 「時報」『映画教育』1942年2月号、54-60頁、 「文部省検定・選定映画（二）」『映画教育』1942年5月号、50-51頁、 「大毎東日学校巡回映画連盟加盟団体紹介 39、在満日本教育会北部会」『映画教育』1942年7月号、35-41頁、	
119	金太郎の体育日記	宏昌漫画映画制作所	鈴木宏昌	1940		「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1941年2月21日号、75-76頁、 <広告>「傑作封切漫画大会 三幸商会製作 映画配給社配給」『映画旬報』1943年1月21日号、45頁、 「時報」『映画教育』1941年2月号、52-59頁	




120	動物協同組合（動物となり組）	日本映画科学研究所	熊川正雄	1941	戦中の『動物となり組』が戦後に新版として『動物共同組合(トナリクミ)』と改題されたもの。台詞(一部?)なども戦後に合せて再録音されたと考えられ、闇物資のことなどに触れている。CCD認証番号：A-780。	<広告>『動物となり組』『映画旬報』1941年2月21日号、39頁、 「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1941年2月21日号、75-76頁、 「短編映画」『映画旬報』1941年3月21日号、58頁、 「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1941年4月1日号、146-147頁、 <広告>『動物となり組』『映画旬報』1941年6月1日号、56頁、 『動物となり組』『映画教育』1941年4月号、50-51頁、 <広告>『動物となり組』『映画教育』1941年5月号、 「時報」『映画教育』1941年7月号、52-59頁、 「時報」『映画教育』1942年7月号、54-59頁、 「其他日本映画補遺」『映画年鑑』1942年、17-26頁	 IN COPYRIGHT
121	漫画紙芝居 金太郎	日本映画科学研究所	桑田良太郎	1941		「昭和十七年度自十月至十二月封切映画一覧」『映画旬報』1943年2月1日号、57-59頁、 「短編映画紹介」『映画旬報』1943年2月21日号、36-37頁、 森田篤慶「今月の教材と映画」『教材映画』1938年5月号、26-32頁	 IN COPYRIGHT
122	マー坊の大サーカス（マー坊の大陸宣撫隊 前篇 サーカスの巻 / 後篇 匪賊退治の巻）	佐藤映画製作所	千葉洋路	1941	元気なマー坊の名の少年が活躍するシリーズ・アニメ。公開年月日：1942年3月26日（新宿朝日劇場）。「日本アニメーション映画史」225頁にある『マー坊の大陸宣撫隊』の「前篇サーカスの巻」と「後篇 匪賊退治の巻」をまとめたもの。おそらく戦後版。	「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1942年1月1日号、92頁	 COPYRIGHT UNDETERMINED
123	マンガ 空中凸凹拳闘	国光教育映画社	作画：吉田晴夫 橋本蔵六	1941	作画操作：吉田晴夫 作画撮影：橋本蔵六 録音：岩谷サウンドシステム お話：牧野周一とお伽會。「日本アニメーション映画史」225頁の『空の勇者』と同一。原題の『空の王者』の他に『兎の戦争』の改題もある。『空中凸凹拳闘』は三度目の改題かも。		 COPYRIGHT UNDETERMINED
124	三吉シリーズ 僕等の海兵團	日本マンガフィルム研究所	片岡芳太郎	1941	企畫、編輯：高橋幸次郎 作画、撮影：片岡芳太郎 作画助手：巖光司郎、山本作次郎 作曲編曲：西垣鉄雄 録音 岩谷サウンド電気研究所 題名はお猿三吉だが動物の猿ではなく、人間の猿野三吉が日本海軍の水兵役のキャラクターを演ずる。ミッキーマウスによく似たいたずら鼠が登場する。	「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1943年5月11日号、34頁 +G143:G145	 COPYRIGHT UNDETERMINED
125	チュウ児の羽衣（サイレント版）	土田商会	山口貞三	1941	1941年1月8日名古屋宝会館公開	「昭和十七年 一月より三月 封切映画一覧」『映画旬報』1942年4月11日号、58-62頁 <広告>「十六回発声映画番組決定！」『映画教室』1947年6月号、23頁、	 COPYRIGHT UNDETERMINED











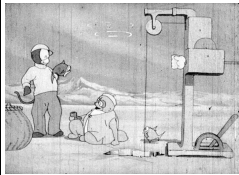


126	マンガ 裸ぢや飛べない(トーカー版)	ミツワ興行	光田三祿	1941	製作：ミツワ興行株式会社 作画：光田三祿 音楽：斉藤七郎 録音：岩谷サウンド 『チュー兒の羽衣』(1941年、山口貞三、「日本アニメーション映画史」226頁)の戦後の改題トーカー新版。光田三祿とあるが『チュー兒の羽衣』と比較して新作改編部分が見つからない。	「昭和十七年 一月より三月 封切映画一覧」『映画旬報』1942年4月11日号、58-62頁 〈広告〉「十六回発声映画番組決定!」『映画教室』1947年6月号、23頁、	 COPYRIGHT UNDETERMINED
127	子供と工作(実写併用)	十字屋映画部	渡辺義美(影絵・大藤信郎)	1941		關猛「子供と工作」『映画教育』1941年9月号、19頁、 〈広告〉「子供と工作」『映画教育』1941年11月号、 「東日児童文化劇場だより」『映画教育』1942年3月号、31頁、 「時報」『映画教育』1942年3月号、52-59頁、 「時報」『映画教育』1942年5月号、52-59頁、 石本統吉「子供と工作」『日本映画』1941年9月号、25頁、 〈広告〉「子供と工作」『+G146:G147文化映画』1941年4月号、77頁、 「文化映画製作所展望」『文化映画』1941年5月号、83-84頁、 「子供と工作」『文化映画』1941年6月号、80-81頁、 「文部省推薦・認定月報」『映画教育』1941年8月号、28-29頁、	 COPYRIGHT NOT EVALUATED
128	かぐや姫		荒井和五郎	1942	メインタイトル、クレジット欠。エンドタイトル「終」あり。	「J.O.スタジオ通信」『キネマ旬報』1935年9月11日号、97頁、 〈広告〉「かぐや姫」『映画旬報』1941年10月21日号、10頁、 〈広告〉「かぐや姫」『映画旬報』1941年12月11日号、15頁、 〈広告〉「かぐや姫」『映画旬報』1942年1月1日号、 〈広告〉「かぐや姫」『映画旬報』1942年2月1日号、 清水晶「かぐや姫」『映画旬報』1942年2月21日号、33-34頁、 鈴木勇吉「かぐや姫」『映画旬報』1942年3月21日号、47頁、 「昭和十七年 一月より三月 封切映画一覧」『映画旬報』1942年4月11日号、58-62頁、 森田篤慶「かぐや姫」『映画教育』1942年4月号、22-23頁、 「東日児童文化劇場だより」『映画教育』1942年7月号、31頁、 〈広告〉「かぐや姫」『映画評論』1941年12月号、 〈広告〉「かぐや姫」『日本映画』1941年12月号、 〈広告〉「かぐや姫」『日本映画』1942年1月号、 「技能審査の今年度合格者」『日本映画』1942年10月号、126頁、 「かぐや姫」『小型映画』1942年3月号、 「荒井和五郎氏に影絵映画かぐや姫の製作談を訊く」『小型映画』1942年3月号、5-9頁、 「荒井氏とかぐや姫」『小型映画』1942年3月号 〈広告〉「十六ミリ発声映画幻燈画配給番組決定!」『映画教室』1947年2月号、 〈広告〉「新世界映画社の優秀な教育映画」『映画教室』1947年9月号、29頁、 高萩龍太郎「教育映画を打診する」『映画教室』1948年7月号、8頁、 〈広告〉「新映画」1946年11月号、31頁、	 IN COPYRIGHT
129	マー坊の南海奮戦記	佐藤映画製作所、佐藤今二良	千葉洋路	1942	公開年月日：1942年9月17日(東日児童文化劇)	「華北映画通信」『映画旬報』1943年11月11日号、15頁、 「東日児童文化劇場だより」『映画教育』1942年10月号、27頁	 IN COPYRIGHT

130	スパイ撃滅 	三幸商会	山本早苗	1942	公開年月日：1942年7月16日（横浜朝日劇場）	<広告>「傑作封切漫画大会 三幸商会製作 映画配給社配給」『映画旬報』1943年1月21日号、45頁。 「短編映画紹介」『映画旬報』1943年3月21日号、25頁。 「時報」『映画教育』1942年10月号、55-59頁。 「満州国映画界 学校と映画」『映画年鑑』1943年、611頁	
131	漫画 敵機来らば 	三幸商会	山本早苗	1942		<広告>「傑作封切漫画大会 三幸商会製作 映画配給社配給」『映画旬報』1943年1月21日号、45頁	
132	桃太郎の海鷲	芸術映画社	瀬尾光世	1942	1941年12月8日、太平洋戦争開戦の発端となった日本海軍のハワイ真珠湾攻撃成功を少国民（小学校の生徒）たちに海軍省がPRするために制作させた国策映画。従来、日本の劇場アニメは3巻が最高の長さだったが、5巻（37分）という初めての長編（というより厳密には中篇だが）アニメが制作された。背景を担当した持永只仁は、戦後、日本の人形アニメ制作のパイオニアとなった。公開年月日：1943年3月25日（白系）	津村秀夫「映画戦」朝日新聞社、1944年、107頁。 千葉俊一「大華大戲院：中国人を対照としたる日本映畫専門館」中華電影研究所資料部、1944年、41-42頁。 <広告>「桃太郎の海鷲」『映画旬報』1942年11月11日号、 「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1942年11月21日号、54頁。 米山忠雄「軍事関係製作の漫画映画に就いて」『映画旬報』1942年12月1日号、84-85頁。 <広告>「桃太郎の海鷲」『映画旬報』1943年1月1日号、 「大華（ロキシー）映画専門館に転向」『映画旬報』1943年2月1日号、5頁。 「本年度文部省推薦」『映画旬報』1943年2月11日号、4頁。 「桃太郎の海鷲」『映画旬報』1943年2月11日号、19頁。 今村太平「最近の漫画映画」『映画旬報』1943年3月1日号、26-27頁。 <広告>「桃太郎の海鷲」『映画旬報』1943年3月1日号、 <広告>「桃太郎の海鷲」『映画旬報』1943年3月11日号、 <広告>「桃太郎の海鷲」『映画旬報』1943年3月21日号、 「昭和十八年 一月-三月封切映画一覧表」『映画旬報』1943年4月1日号、38-40頁。 「興行展望」『映画旬報』1943年4月11日号、100頁。 「興行展望：長篇漫画初陣の巧名」『映画旬報』1943年4月21日号、48頁。 「警視庁調査帝都映画鑑賞者数 十七年度は最高数字を記録」『映画旬報』1943年5月21日号、3頁。 「興行収入」『映画旬報』1943年5月21日号、33頁。 「上海大華大戲院（Roxy）上映日本映画興行成績表」『映画旬報』1943年6月1日号、21頁。 波多野完治「漫画と童心」『映画旬報』1943年6月11日号、8-9頁。 渡辺直之「南の白き一頁」『キネマ旬報』1946年10月1日号、35頁。 半田亮一「桃太郎の海鷲」『少国民文化』1943年5月号、109頁。	








133	くもとちゅうりっぷ	松竹動画研究所	政岡憲三	1943	原作：横山美智子。太平洋戦争中にかかわらず、戦時色も戦意高揚のメッセージも一切なく、诗情あふれる名作となった。公開年月日：1943年4月15日（白系）、4月22日（紅系）	<p>「短編映画紹介」『映画旬報』1943年2月21日号、36-37頁、  「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1943年2月21日号、42頁、  今村太平「最近の漫画映画」『映画旬報』1943年3月1日号、26-27頁、  &lt;広告&gt;「くもとちゅうりっぷ」『映画旬報』1943年4月1日号、  「興行展望」『映画旬報』1943年5月11日号、32頁、  「興行展望：「家」最悪の記録を現出す！」『映画旬報』1943年5月21日号、  波多野完治「漫画と童心」『映画旬報』1943年6月11日号、8-9頁、  「時報」『映画教育』1943年2月号、39-43頁、  關猛「くもとちゅうりっぷ」『映画教育』1943年3月号、25頁、  「昭和十八年中の封切上映映画と文部省推薦、認定及選定」『映画教育』1944年1・2月合併号、20-25頁、  管見恒夫「上海映画近情」『映画評論』1944年5月号、14-18頁、  「南方諸地域映画事情」『日本映画』1944年4月1日号、29-32頁、  「共栄圏映画情報」『日本映画』1944年6月1日号、32-33頁、  「文化映画封切記録 昭和十八年度上半期」『文化映画』1943年7月号、57-58頁  鈴木喜代松「くもとちゅうりっぷ」『少国民文化』1943年7月号、75頁、  「各地の動き」『映画教室』1947年6月号、23頁、</p>	
134	闘球肉弾戦	松竹動画研究所	桑田良太郎	1943	<p>脚本：高木一郎 演出：桑田良太郎 撮影：本庄吉雄  作曲、指揮：吾妻次郎 演奏：大東交響樂團  音響、効果：木村一 調音：大村三郎 方式：土橋式松竹フオーン 動画：熊川正雄 [助手] 土井研二、山室正男、木村一郎、鎌田惣助 背景：高木一郎 社団法人映画配給社配給 松竹には画・音とも良好な素材がある。CCD認可番号：A1219とあることから戦後のリリースプリント。</p>	<p>「記録」『日本映画』1944年4月15日号、36頁、  「闘球肉弾戦」『日本映画』1944年改新第十二号、26-27頁</p>	
135	マレー沖海戦 	横浜シネマ商会	大藤信郎	1943	後援：海軍省。太平洋戦争中、日本海軍のマレー沖海戦勝利を影絵アニメ化したプロパガンダ作品。公開年月日：1943年12月1日（白系）	「マレー沖海戦」『映画旬報』1943年11月21日号（終刊号）、62頁	

136	ニッポンバンザイ (缶表より)	朝日映画社	前田一、木村一郎、ほか	1943	海軍省がスポンサーで大東亜 (太平洋) 戦争の正当性をPRする戦意高揚映画。公開年月日：1943年5月27日 (白系)	米山忠雄「軍事関係製作の漫画映画に就いて」『映画旬報』1942年12月1日号、84-85頁。 <広告>「ニッポンバンザイ」『映画旬報』1943年2月21日号、33頁。 <広告>「ニッポンバンザイ」『映画旬報』1943年5月11日号、20頁。 「昭和十八年四月-十月封切映画一覧表」『映画旬報』1943年11月1日号、31-32頁。 「昭和十八年中の封切上映映画と文部省推薦、認定及選定」『映画教育』1944年1・2月合併号、20-25頁。 木下武男「海軍漫画映画の新作」『新映画』1943年5月号、56-57頁。 <広告>「ニッポンバンザイ」『日本映画』1943年1月号。 <広告>「ニッポンバンザイ」『日本映画』1943年3月号。 三田郁美「文化映画界上半期の回顧」『日本映画』1943年8月号、24-27頁。 「昭和十八年度封切文化映画傾向一覧」『日本映画』1944年6月1日号、26-27頁。 「文化映画封切記録 昭和十八年度上半期」『文化映画』1943年7月号、57-58頁	 IN COPYRIGHT
137	マー坊の落下傘部隊	佐藤線映画製作所	佐藤吟二郎	1943	終のタイトルのクレジットは佐藤線映画製作所 (線画ではない)。1937年から佐藤線画製作所。1938年は佐藤映画製作所。1934年頃は佐藤線映画製作所という名称がみられる。「日本アニメーション映画史」ではこの作品の紹介は佐藤映画製作所になっている。公開年月日：1943年8月1日 (白系)	米山忠雄「軍事関係製作の漫画映画に就いて」『映画旬報』1942年12月1日号、84-85頁。 「内務省検閲済新映画メートル数」『映画旬報』1943年5月21日号、34頁。 <広告>「マンガ映画決戦大会」『映画旬報』1943年6月21日号。 「文部省の新選定映画」『映画旬報』1943年7月11日号、57頁。 「第二次国民映画普及会」『映画旬報』1943年7月21日号、4頁。 村上忠久「描画批評」『映画旬報』1943年7月21日号、15頁。 「第九回文部省選定 課外用、青年向映画」『映画旬報』1943年10月1日号、5頁。 「昭和十八年四月-十月封切映画一覧表」『映画旬報』1943年11月1日号、31-32頁。 「文部省選定映画」『映画教育』1944年1・2月合併号、16-19頁。 「昭和十八年中の封切上映映画と文部省推薦、認定及選定」『映画教育』1944年1・2月合併号、20-25頁。 「昭和十八年度定期配給映画」『映画教育』1944年1・2月合併号、56頁。 「文部省選定映画」『映画教育』1944年4月号、7頁。 「マー坊の落下傘部隊」『映画教育』1944年5月号、4-5頁。 「南方諸地域映画事情」『日本映画』1944年4月1日号、29-32頁	 COPYRIGHT UNDETERMINED
138	桜 (春の幻想)	日本漫画映画社	政岡憲三	1946	原題『桜』。作品が完成したものの内容が地味だとオクラになった。16ミリ版が勝手に作られ『春の幻想』の題名で上映された。音楽はストコフスキーの「舞踏への勧誘」のレコードであった。画に4つのパーフォレーションが映り込んでいるので35mm製作。1946年5月完成。	 IN COPYRIGHT	









139	魔法のペン	京都映画社	熊川正雄	1946		<p>「短篇ニュース映画」『キネマ旬報』1947年4月1日号、35頁、  「短篇ニュース」『キネマ旬報』1947年6月1日号、28頁、  「ニュース短篇」『キネマ旬報』1947年7月1日号、28頁、  「ニュース短篇」『キネマ旬報』1947年8月1日号、29頁、  浄法寺喬「新作短篇批評 魔法のペン」『キネマ旬報』1948年4月1日号、27頁、  「映画教育」『キネマ旬報』1949年1月1日号、  &lt;広告&gt;『キネマ旬報』1948年9月1日号、  &lt;広告&gt;『映画評論』1948年5月号、27頁、  「新映画紹介」『映画教室』1947年9月号、26頁、  「スタジオ製作現況」『映画演劇新報』1947年6月号、9頁、  &lt;広告&gt;「新世界映画社新作ラインナップ」『映画教室』1948年2月号、23頁、  高萩龍太郎「教育映画を打診する」『映画教室』1948年7月号、8-9頁、  「東京都映画教室連盟選定の映画教室用フィルム表題」『映画教室』1948年9月号、  文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第一集』文部省、1949年、  &lt;広告&gt;「新世界映画社の映画教室」『映画教室』1948年9月号、  &lt;広告&gt;「新世界映画社の映画教室」『映画教室』1948年10月号、  村上良哉「製作は如何に推進されたか」『映画教室』1949年3月号、9頁、  「我々はかく実行した」『映画教室』1949年4月号、24頁、  黒井元治「我々はかく実行している」『映画教室』1949年9月号、19頁、</p>	
140	ヤシノミ	新世界映画	荒井和五郎	1947	影絵アニメ。題名は片仮名で表記されている。	<p>「短篇ニュース」『キネマ旬報』1947年6月1日号、28頁、</p>	
141	よくばり狐（森の騒動）	新世界映画社	前田一	1947	作画：渡辺功、穴山久、石山昌治、古屋勉。 1947年12月完成。『よくばり狐』と『森の騒動』は別作品で『よくばり狐』が続編か。	<p>「短篇ニュース」『キネマ旬報』1947年6月1日号、28頁、  「ニュース短篇」『キネマ旬報』1947年7月1日号、28頁、  &lt;広告&gt;『キネマ旬報』1947年10月1日号、32頁、  「ニュース短篇」『キネマ旬報』1948年5月1日号、40頁、  &lt;広告&gt;『キネマ旬報』1948年9月1日号、  「ニュース短篇」『キネマ旬報』1948年10月1日号、40頁、  &lt;広告&gt;『キネマ旬報』1948年10月15日号、  「スタジオ製作現況」『映画演劇新報』1947年6月号、9頁、  「新作教育映画案内」『映画教室』1948年1月号、23頁、  &lt;広告&gt;「新世界映画社新作ラインナップ」『映画教室』1948年2月号、23頁、  「東京都映画教室連盟選定の映画教室用フィルム表題」『映画教室』1948年9月号、  &lt;広告&gt;「新世界映画社の映画教室」『映画教室』1948年9月号、  &lt;広告&gt;「新世界映画社の映画教室」『映画教室』1948年10月号、  村上良哉「製作は如何に推進されたか」『映画教室』1949年3月号、9頁、  「映教ニュース」『映画教室』1948年1月号、20頁、</p>	
142	森の騒動	新世界映画社	前田一	1947	同上	<p>『フィルムライブラリー用 教育・短篇映画 全国巡回試写会に関する報告書集計 第1回』日本映画連合会 社会教育映画普及会、1950年、a-4.a-5頁、  文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第一集』文部省、1949年、68頁、</p>	












143	雪の夜の夢 	千代紙映画社	大藤信郎	1947	影絵アニメ	<広告>『キネマ旬報』1948年6月15日号、15頁、 『新作教育映画紹介』『映画教室』1949年10月号、42-43頁、	
144	狐とヒヨコ	近代映画社	森野佐登志	1947	監督の森野佐登志の本名は浅野恵（さとし）。 作画：里見修	文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第一集』文部省、1949年、68頁、 黒井元治「我々はかく実行している」『映画教室』1949年9月号、19頁、 高萩龍太郎「教育映画を打診する」『映画教室』1948年7月号、10頁、 <広告>「近代映画株式会社」『映画教室』1949年1月号、31頁、	
145	カチカチ山の消防隊	日本漫画映画社	小幡俊治	1947		「ニュース短篇」『キネマ旬報』1947年11月15日号、32頁、 『映画教育』『キネマ旬報』1949年1月1日号、 高萩龍太郎「教育映画を打診する」『映画教室』1948年7月号、10頁、 『フィルムライブラリー用 教育・短篇映画 全国巡回試写会に関する報告書 集計 第1回』日本映画連合会 社会教育映画普及会、1950年、a-4,a-5頁、 文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第一集』文部省、1949年、68頁、 『視聴覚教育要覧 1953年版』日本映画教育協会、1952年、266頁、	
146	続々大漁（続く大漁） 	日本漫画映画社	村田安司	1947	1947年12月完成、翌1948年2月24日大映系封切。1933年の『お猿の大漁』続編『続く大漁』の改題版と思われる。木下華声の吹替も改題版で付けたものか。『アカ吉の知恵』などと同様にアニメは横浜シネマ商会の後輩(つながりは無い)増田謙二。	「ニュース短篇」『キネマ旬報』1948年3月1日号、38頁、 「ニュース短篇」『キネマ旬報』1948年4月1日号、27頁、 高萩龍太郎「教育映画を打診する」『映画教室』1948年7月号、10頁、	
147	マッチ売りの少女	日本漫画映画社	荒井和五郎、 須賀嘉行	1947	バレエの舞踏の振付を石井漢が担当。ライブ・アクションを影絵アニメの参考にした。1947年12月完成	「映教ニュース」『映画教室』1948年6月号、22頁、 高萩龍太郎「教育映画を打診する」『映画教室』1948年7月号、10頁、 「我々はかく実行した」『映画教室』1949年4月号、24頁、	

148	すて猫トラちゃん	日本動画社、東宝教育映画部	政岡憲三	1947	セリフはオペレッタ形式。技術的に難しい画面の180度回転も行われた。1947年8月完成。公開年月日：1947年9月25日（日比谷映画劇場）	「ニュース短篇」『キネマ旬報』1947年7月15日号、32頁、 「ニュース短篇」『キネマ旬報』1947年10月1日号、32頁、 登川直樹「すがすがしい印象」『キネマ旬報』1947年10月1日号、33頁、 「映画教育」『キネマ旬報』1949年1月1日号、 高萩龍太郎「新しい教育映画」『キネマ旬報』1949年8月1日号、41頁、 なめかわみちお「児童映画への構想」『映画教室』1997年3月号、1頁、 東宝教育映画製作関係者一同「教育映画発表に際して」『映画教室』1947年9月号、6頁、 「東宝新作品紹介」『映画教室』1947年9月号、14-15頁、 「プロダクション巡り(1)」『映画演劇新報』1947年5月号、5頁、 「映教JEEP」『映画教室』1948年1月号、 「映画教育界の動向」『映画教室』1948年1月号、 「新作教育映画案内」『映画教室』1948年1月号、23頁、 丸山章治「文部大臣賞と解雇通知」『映画教室』1948年6月号、24頁、 高萩龍太郎「教育映画を打診する」『映画教室』1948年7月号、10頁、 「東京都映画教室連盟選定の映画教室用フィルム表題」『映画教室』1948年9月号、 『フィルムライブラリー用 教育・短篇映画 全国巡回試写会に関する報告書 集計 第1回』日本映画連合会 社会教育映画普及会、1950年、b-1頁、 『視聴覚教育要覧 1935年版』日本映画教育協会、1952年、245頁、 「東京都映画教室連盟選定の映画教室用フィルム表題」『映画教室』1948年9月第2巻第7号、 村上良哉「製作は如何に推進されたか」『映画教室』1949年3月号、9頁、 「我々はかく実行した」『映画教室』1949年4月号、24頁、 吉開善志生「鑑賞指導上の一つの記録」『映画教室』1949年10月号、15-16頁、 <広告>「教育映画配給社」『映画教室』1950年3月号、37頁、 長田美雄「子供は映画をこう見ている」『映画教室』1950年4月号、11頁、 「映教ニュース」『映画教室』1948年5月号、25頁、 「中学校一年生の『映画』に対する希望」『映画教育』1950年9月号、26頁、 「私の推薦」『映画教室』1948年2月号、18-19頁、 「映画教室の在り方」『映画教室』1949年8月号、9頁、 「『映画教室』用の番組」『映画教室』1948年1月号、 <広告>『キネマ旬報』1948年6月15日号、15頁、 「ニュース短篇」『キネマ旬報』1948年8月15日号、40頁、 『視聴覚教育要覧 1953年版』日本映画教育協会、1952年、267頁、	
149	防犯はみんなの力で	日本動画株式会社	松崎與志人	1948	原作：三谷節 脚本、演出：松崎與志人 作画：中島喜美 撮影：藪下泰次 音楽：三木鶏郎 提供：三幸映画社 CCD認可番号：M.12281	<広告>『キネマ旬報』1948年6月15日号、15頁、 「ニュース短篇」『キネマ旬報』1948年8月15日号、40頁、 『視聴覚教育要覧 1953年版』日本映画教育協会、1952年、267頁、	
150	バクダット姫	三幸映画社	芦田巖	1948	上京中の若き手塚治虫がアニメーター募集広告を見てアニメーターになりたくて、『バクダット姫』製作中のスタジオを訪れ、オーナーの芦田巖と会うが採用は断られる。芦田にすれば多忙の折、一人でも助っ人のアニメーターが欲しかったであろうが、素人の手塚治虫に一からアニメを教えるより、ベテランのアニメーターが欲しかったのだろう。	「ニュース短篇」『キネマ旬報』1948年8月15日号、40頁、	












151	大聖釈尊 	三幸映画社	大藤信郎	1949/ 1952		「ニュース短篇」『キネマ旬報』1948年8月15日号、40頁、 「ニュース短篇」『キネマ旬報』1949年12月1日号、43頁、 「毎日の」短篇「コンクール」『キネマ旬報』1950年3月15日号、58頁、 今村金衛編『映画年鑑 1950年版』時事通信社、1949年、 「新作教育映画紹介」『映画教室』1949年10月号、42-43頁、	
152	まさかりかついで	日本漫画映画社	古沢秀雄	1948	原作：上金好裕 1948年4月完成	「ニュース短篇」『キネマ旬報』1948年4月1日号、27頁、 今村金衛編『映画年鑑 1950年版』時事通信社、1949年、33頁、 『フィルムライブラリー用 教育・短篇映画 全国巡回試写会に関する報告書 集計 第1回』日本映画連合会 社会教育映画普及会、1950年、a-3頁、b-2頁、 『視聴覚教育要覧 1953年版』日本映画教育協会、1952年、281頁、 村上良哉「製作は如何に推進されたか」『映画教室』1949年3月号、10頁、	
153	ぼっぼやさん のんき駅長（部 分）	日本動画社	熊川正雄	1948	前半部分欠落	「日動の新作漫画」『キネマ旬報』1949年4月1日号、39頁、 「映画教育」『キネマ旬報』1949年7月1日号、38頁、 『フィルムライブラリー用 教育・短篇映画 全国巡回試写会に関する報告書 集計 第1回』日本映画連合会、社会教育映画普及会、1950年、a-4、a-5頁、 文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第 二集』文部省、1949年、 村上良哉「製作は如何に推進されたか」『映画教室』1949年3月号、10頁、 「新作教育映画紹介」『映画教室』1949年3月号、36頁、 <広告>「教育映画配給社の映画教室」『映画教室』1949年5月号、 <広告>「教育映画配給社の映画教室」『映画教室』1949年6月号、 「映画教室の在り方」『映画教室』1949年8月号、14頁、 <広告>「教育映画配給社の映画教育」『映画教育』1949年9月号、4頁、 長田美雄「子供は映画をこう見ている」『映画教室』1950年4月号、11-13頁、 「『映画教室』の在り方」『映画教室』1950年4月号、18頁、 鈴木武記「中学校に於ける映画教室の実際」『視聴覚教育』1951年11月号、 23頁、 「映画・幻燈を利用した夏休み行事」『映画教育』1950年7月号、24頁、	
154	ワンきちのかいぶつたいじ （「ワン公と怪物船」の改題 か？）	京都映画社	木村角山	1948			
155	蜂のお国	日本短篇映画社	進藤進	1948	動画：進藤描画研究所 製作：高橋喜代江 作 画：進藤光子 撮影：進藤幸児 音楽、効果： 木村一 巻頭と終に「日本マンガフィルム研 究所」のタイトルが出るが、別作品か。	『フィルムライブラリー用 教育・短篇映画 全国巡回試写会に関する報告書 集計 第1回』日本映画連合会 社会教育映画普及会、1950年、a-4、a-5頁、	
156	動物大野球戦	東宝教育映画、日 本動画映画	藪下泰次、熊 川正雄	1949	1949年12月完成	「ニュース短篇」『キネマ旬報』1949年11月1日号、83頁、 「映画教育」『キネマ旬報』1950年2月1日号、45頁、 文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第 三集』文部省、1950年、 「新作教育映画紹介」『映画教室』1949年12月号、43頁、 <広告>「東宝教育映画」『映画教室』1949年12月号、 <広告>「教育映画配給社」『映画教室』1950年3月号、37頁、 「文部省教育映画等審査委員会報告」『映画教室』1950年4月号、43頁、	













157	アカ吉の知恵	日本漫画映画社	村田安司	1949	原作：鈴木銀二。1949年6月完成	村田安二「ニュース短篇」『キネマ旬報』1949年7月15日号、39頁、 文部省編『教育映画、幻燈画、紙芝居目録：教育映画等審査分科審議会報告 第二集』文部省、1949年、	
158	スポーツ子狸 競馬篇	日本短篇映画社	古沢日出夫	1949	ナレーションは竹脇昌作。エンドタイトルの後にクレジット「声の人：池田忠夫、大塚博、鎌田彌恵」あり。1949年11月完成。53年にフジカラーでリメイク版が制作されている。	『フィルムライブラリー用 教育・短篇映画 全国巡回試写会に関する報告書 集計 第1回』日本映画連合会 社会教育映画普及会、1950年、a-3頁、 「新作教育映画紹介」『映画教室』1949年10月号、42-43頁、 「新作教育映画紹介」『映画教室』1950年1月号、51頁、	
159	小人と青虫	東宝教育映画、日本動画社	古沢秀雄	1950	原作：肥塚あきら。1950年12月完成 タイトル部欠落	落合矯一「今月の映画教室から」『視聴覚教育』1951年4月号、50頁、 伊東美治「映画と校外指導の実践 -夏休みのレクリエーションとして-」『視聴覚教育』1951年8月号、20頁、	
160	動物村のとり入れ	京都映画社		1950			
161	お天気学校	東宝教育映画、日本動画社	古沢日出夫	1952	1952年2月完成	「ニュース短篇」『キネマ旬報』1952年6月15日号、62頁、	
162	兎と亀の決勝戦	日動映画株式会社	藪下泰次	1952	企画：教育映画配給社 製作：日動映画株式会社 製作：山本早苗 脚本、演出：藪下泰次 音楽：小沢直興志(日本ビクター) 作画：古沢日出夫 背景：大工原章 撮影：高城泰策、石川光明 演奏：映画音楽協会 1952年11月完成		
163	森の音楽会	芦田漫画映画製作所、奥商会	芦田いわを	1953	「日本アニメーション映画史」とクレジット表記が違う。1957年にアメリカCBS-TVへ輸出されている。 講和記念 懸賞募集 漫画シナリオ 一等当選 製作、提供：合資会社 奥商会 芦田漫画製作所 作品 原作脚色：西尾善介 動画：福田里三郎 補動画：西島行雄 背景：右田利朗 色彩効果：日本色彩K.K. 音楽指揮：山本浩久 作曲：尾崎義雄 独唱：楠木トシエ 演奏：日本フィルハーモニー 演出、撮影：芦田いわを 1953年3月完成		
164	かかし	芦田漫画映画製作所	芦田いわを	1953	配給：奥商会（ニッポングラフ）提供：日本8ミリ映画株式会社		


165	小人の電話	渡部プロダクション	藪下泰司	1953	渡部プロダクション作品 富士カラー ニュータイプ使用 映倫E-537 製作者：渡部清 協力：山本早苗 脚本：秋元憲 演出：藪下泰司 協力：湯原甫 撮影：完倉泰一 作画撮影：高城泰策、石川光明 録音：土橋武夫 東通工テープ録音方式 音楽：服部正 作詞：藤浦洸 演奏：映画音楽協会 唄：池真理子、平山美智子、末松和男 漫画作業：日動映画株式会社 原画：古沢日出夫、森康次、久和田太郎、市野正二 動画：本庄吉雄、長沼寿美子、進藤進、諸橋三郎、小沢重行、岩田西介 描画彩画：安斉儀之、進藤みつ子、菰岡静子、岡田幸子 背景：中島清、大工原章		 IN COPYRIGHT
166	ありとはと	日動映画	湯原甫	1953	1953年9月完成		 COPYRIGHT NOT EVALUATED
167	子うさぎものがたり	日動映画	森康二	1954	1954年3月完成		 IN COPYRIGHT
168	かっぱ川太郎	三井芸術プロ	藪下泰司	1954			 IN COPYRIGHT
169	花と蝶	千代紙映画社、奥商会	大藤信郎	1954	製作、提供：合資会社奥商会 千代紙映画社作品 録音：目黒スタジオ 色彩：コニカラー 台詞：七曜会 作曲：紙恭輔 背景：宮崎ふみを（宮崎ふみを） 作画演出：大藤信郎 1954年10月完成。34年の『三月の蝶』（2色カラー）のリメイク版。		 IN COPYRIGHT
170	一本足のキリギリス			1955			 COPYRIGHT NOT EVALUATED
171	トラちゃんの冒険	日動映画	湯原甫	1955	1955年2月完成		 COPYRIGHT NOT EVALUATED
172	団子兵衛捕物帖 開けごまの巻	千代田映画社	大藤信郎	1955	タイトルは「開けごま」伸ばしている。奥商会扱い。絵が片岡芳太郎の絵柄に似ているので手伝っているのでは？ 背景は熊川正雄。1955年6月完成。52年の『四十人の盗賊』改題。		 IN COPYRIGHT
173	うかれバイオリン（タイトル部分なし）	日動映画	藪下泰司	1955	この作品は東映教育映画部の外注作品だったが、完成度が評価され東映動画設立のきっかけとなった。1955年9月完成		 IN COPYRIGHT
174	原子力の謎をとく（ネガ）	芦田漫画映画製作所	芦田いわお	1956	実写と図解アニメで原子力の理論と平和利用を説明。1956年3月完成		 COPYRIGHT NOT EVALUATED
175	瓜子姫とあまのじゃく	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁、田中喜次	1956	1956年1月完成		 IN COPYRIGHT

176	五匹の子猿たち	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁、田中喜次	1956	1956年6月完成		 IN COPYRIGHT
177	ちびくろ・さんぼのとらたいじ	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁	1956	原作：ヘレン・バンナーマン 絵：フランク・ドビアス 光吉夏弥訳「ちびくろ・さんぼ」（岩波こどもの本）。1956年11月完成		 IN COPYRIGHT
178	一寸法師	日動映画	藪下泰司	1956	1956年4月完成		 IN COPYRIGHT
179	ふしぎな太鼓	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁、田中喜次	1957	演出：持永只仁。田中喜次 撮影：岸次郎 製作：稲村喜一 人形製作：川本喜八郎 薬売り小天狗 原作：石井桃子 絵：清水崑（岩波こどもの本「ふしぎなたいこ」より）。1957年8月20日完成		 IN COPYRIGHT
180	子熊ちゃんの花束	芦田漫画映画製作所	芦田いわお	1957	脚本、演出、撮影：芦田いわお 1957年3月完成		 COPYRIGHT NOT EVALUATED
181	ふくすけ	おとぎプロ	横山隆一	1957	公開年月日：1957年10月29日（東宝系）	飯沢匡「横山隆一氏のふくすけ」『映画芸術』1957年12月号、69-70頁、	 IN COPYRIGHT
182	こねこのらくがき	東映教育映画部	藪下泰次	1957	原作：木下秋夫 1957年5月13日完成		 IN COPYRIGHT
183	貝の火	若木書房映画部	島崎久夫	1957	提供：十六ミリ映画株式会社 宮沢賢治作 貝の火 せいさく：北村二郎 さくが：片岡芳太郎 さつえい：板橋重人 おんがく：西垣鉄雄 こえのしゅつえん：巖金四郎とそのグループ きゃくほん、えんしゅつ：島崎久夫 1957年9月完成		 IN COPYRIGHT
184	子熊のコロちゃん	日本テレビジョン	上金史郎	1958	1958年3月完成		 IN COPYRIGHT
185	こぶとり	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁、田中喜次	1958	人形制作は川本喜八郎。美術監督を水谷浩（1906～1971）が担当。水谷は溝口健二監督の美術監督として有名。1958年1月完成 人形アニメ		 IN COPYRIGHT
186	ぶんぶくちゃがま	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁、田中喜次	1958	人形制作は川本喜八郎 1958年5月完成		 IN COPYRIGHT
187	空を飛んだ米倉（とびくら）	近代テレビ映画社	鎌倉伴作（横山隆一）	1958	近代テレビ映画社が鎌倉にあるおとぎプロのオーナー横山隆一にアニメの外注制作を依頼。横山は鎌倉伴作のペンネームで演出を担当。		 IN COPYRIGHT
188	こうもり（リーダーより）	中井プロダクション	動画：東喜三郎	1958			 IN COPYRIGHT

189	ペンギンぼうや ルルとキキ	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁	1958	第5回教育映画祭動画部門特別賞。1958年9月完成。人形アニメ。この作品から川本喜八郎は離れる。人形制作は飯沢匡の仕事で川本などと一緒にだった熊谷達子（みちこ=谷内六郎夫人）。		 IN COPYRIGHT
190	白蛇伝	東映動画	藪下泰司	1958	日本初の長編カラーアニメーション。公開年月日：1958年10月22日	岡本博「白蛇伝」『映画芸術』1958年12月号、46頁、	 IN COPYRIGHT
191	アニメ古事記 天孫降臨の巻	ヴァーンメディア・学研	福山政敏	1958	アニメーション制作：国際アニメーション研究所		 IN COPYRIGHT
192	いなかねずみとまちのねずみ	学研映画局	渡辺和彦	1959	色紙細工		 IN COPYRIGHT
193	いねむりぶうちゃん	学研映画局	神保まつえ	1959	1959年10月完成		 IN COPYRIGHT
194	こねこのスタジオ	東映動画	森やすじ	1959	第6回教育映画祭特別賞。1959年4月9日完成		 IN COPYRIGHT
195	たぬきさん大当たり	東映動画	ジョージ・M・リード、熊川正雄	1959	東映動画設立の最大目的は自社制作アニメの海外輸出であった。日本映画研究に来ていたアメリカ青年を囑託に迎え、ベテラン・アニメーターの熊川正雄とコンビを組ませて制作。公開年月日：1967年3月19日		 IN COPYRIGHT
196	少年猿飛佐助	東映動画	藪下泰司、大工原章	1959			 IN COPYRIGHT
197	きたかぜとたいよう	学研映画局	渡辺和彦	1960	完成年月日：1960年4月 平面切紙アニメ		 IN COPYRIGHT
198	くつやとこびと	学研映画局	神保まつえ	1960	人形アニメ		 IN COPYRIGHT
199	もりのおんがくたい	学研映画局	神保まつえ	1960			 IN COPYRIGHT




















200	赤い井戸	16ミリ映画株式会社	森園忠	1960	十六ミリ映画株式会社 Westrex RECORDING SYSTEM 製作：星野洋治、狩谷篤、武田謙之助 原作：宮下正美 脚本、演出：森園忠 撮影：仲澤廉治 照明：伴野功 編集：伊勢長之助 人形制作：高山良策 美術：中村貞雄 現像：東洋現像所 音楽：団伊玖磨 アニメーター：大田サトル 解説：フランキー堺 1960年7月完成 以下、スタッフに取材。仲澤はカメラマン。兄も撮影で東映でも活躍した半次郎。アニメーターの太田は大きい田で太いではない。大田サトルの妹は東映動画の朱美で宮崎駿夫人。原作はオリジナル。映画年鑑などの文献には製作が刈谷になっている物が多いが、狩谷。十六ミリ映画の社長は狩谷太郎で製作の篤は息子。武田謙之助は特殊美術、森園忠は文化、PR映画が多い。	 IN COPYRIGHT
201	西遊記	東映動画	藪下泰司、手塚治虫	1960	クレジット上の白川大作は他の2名とは小さい文字で書かれており、助手扱い。	 IN COPYRIGHT
202	人間動物園	久里実験漫画工房	久里洋二	1961	第2回「アニメーション三人の会」上映	 IN COPYRIGHT
203	池田屋騒動		柳原良平	1961	第2回「アニメーション三人の会」上映	 IN COPYRIGHT
204	ねずみのよめ入り	東映動画	白川大作、月岡貞夫	1961	東映動画では新人育成のため、短編アニメを自主制作させたが、この作品と池田宏演出の『もぐらのモトロ』の2作だけで終わった。	 IN COPYRIGHT
205	安寿と厨子王丸	東映動画	藪下泰司、芹川有吾	1961	公開年月日：1961年9月19日（東映系）劇場用長編アニメ。クレジット上は、演出の藪下泰司と芹川有吾は同じ大きさで同格。	 IN COPYRIGHT
206	きんいろのしか じゃータカものがたり	学研映画局	渡辺和彦	1961		 COPYRIGHT NOT EVALUATED
207	竹取物語		大藤信郎	1961	日本最初のシネマスコープアニメとなる筈だった本作は残念ながら未完。大藤信郎の遺作。	 IN COPYRIGHT

208	羅生門（人形アニメ）	Parker Productions, Mikasa Productions （合作）	浅野龍磨	1963	1963年1月13日完成。製作スタッフタイトルは英語表記。製作：スティーブ パーカー 監督：浅野龍磨 美術：浅野孟府 撮影：男沢浩 照明：平田光治 アニメーター：大町繁 美術：山下宏 人形：辻村寿三郎 音楽：いずみたく 助監督：長塚吉郎 撮影助手：池田公雄 照明助手：村井金一 美術助手：高田耕二 絵コンテ：坂間雅子 アニメーター助手：郷田三朗 英語ナレーション台本：エド ストラムEd Strum 制作：小林イクオ アーネスト板倉（漢字が不明な名前はカタカナ）		 IN COPYRIGHT
209	ウィリー・マックビーン魔法の機械（ウィリーマックビーン冒険）	MOMプロダクション、電通映画社、ビデオ・クラフト社	持永只仁、浅野龍磨	1963	米映画製作者のアーサー・ランキン・Jrとジュールス・バスが日本の人形アニメ作家、持永只仁の『ちびくろ・さんぼのとらたいじ』が57年度第1回バンクーバー国際映画祭で児童部門の最高賞を受賞したのを見て、TVの人形アニメシリーズ制作を依頼。最初はTV用短編『ピノキオの冒険』を制作。ついで劇場用長編を依頼。この作品の成功でTV用長編作品を多数制作。米公開：1965年6月23日		 IN COPYRIGHT
210	赤鼻のトナカイ（ルドルフ物語）	MOMプロ、ビデオ・クラフト、電通映画社	持永只仁、長島喜三、アーサー・ランキンJr、ジュールス・バス	1964	アメリカ放映：1964年12月6日（NBCTV） 日本放映：1967年12月24日（NHK） 合作人形アニメ。田畑博司が参加。		 IN COPYRIGHT
211	牛若と弁慶	カテイトーキー	岩田西介、坂井晴男	年不詳	紙フィルム。家庭トーキーの番号：501。岩田西介は松竹蒲田のタイトル部出身。		 COPYRIGHT UNDETERMINED
212	特急忠臣蔵 下巻	カテイトーキー	宇高アリキ、中山ヒロシ	年不詳	紙フィルム。家庭トーキーの番号：504(B)		 COPYRIGHT UNDETERMINED
213	證城寺の狸囃子	伴野商店	大石郁雄	年不詳	玩具フィルム T.6 ビクターレコード 50669-Aに同期 ベビートーキー 作品No.1		 PUBLIC DOMAIN
214	大力太郎の無茶修行	キング、ライオン	片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム。片岡はライオンからのオリジナルが多い。他にキングやマークを消されたプリントもある。		 COPYRIGHT UNDETERMINED
215	動物珍藝團	伴野商店	大石郁雄	年不詳	発売元：大阪・伴野商店。ストーリーは「蛙の跳び、河馬の綱渡り、その他珍芸無類の芸当！すべてこの一巻に収めらる」との記事あり。		 PUBLIC DOMAIN



216	軟尖集 	伴野文三郎商店	大石郁雄	年不詳	マーベルグラフ ナンセンシュウ ナンセンシュウ ソノニ B.BANNO 伴野文三郎商店		
217	のらくろ鬼大尉 要塞総攻撃	ライオン	片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム		
218	独立守備隊 のらくろ鬼中尉	ライオン	片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム。日本映画情報システムによると片岡芳太郎作品。		
219	のらくろ鬼中尉とミッキーマウス芝居騒動		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム		
220	のらくろ鬼中隊 非常呼集の巻	ライオン	片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム		
221	新版 漫画 名探偵凸ちゃん		片岡芳太郎?	年不詳	玩具フィルム		
222	モンキー 無敵艦隊		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム		
223	日の丸旗之助 稲妻組討伐の巻		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム		
224	日の丸旗之助 化物屋敷	ライオン、朝日、マルサン	片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム		
225	冒険ダン吉 大東京巡り		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム		
226	冒険ダン吉 漂流の巻		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム		
227	冒険ダン吉とポパイ 宝島探険		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム		
228	ポン公の飛行潜水艦		片岡芳太郎	年不詳	16mmも玩具フィルムも出ている。		
229	漫画 桂小五郎と凸坊		木村白山	年不詳	玩具フィルム		
230	漫画 茶釜騒動		木村白山	年不詳	玩具フィルム 孔雀フィルム		
231	聖林（ハリウッド）見物	ミツワ映画	中山浩、齊藤弥仁	年不詳	笠置シズ子が歌う「ハリウッド見物」の中で、笠置シズ子がハリウッドに行き、タイロン・パワーに会うところなど、一部、アニメーションで表現されている。アニメの作者は不明。		
232	漫画 お猿の校長		村田安司	年不詳	『レビュー春』の玩具フィルム		

233	カチカチ山 (上巻)	カテイトーキー		年不詳	紙フィルム。上下巻があった (家庭トーキーの番号1001と1002)。最後に「うらへつづく」とあるのでこれは上巻。		
234	ノラクラ伍長 突撃隊	キング		年不詳	玩具フィルム		
235	のらくろ上等兵	キング		年不詳	玩具フィルム		
236	たまたま ばこ	三幸映画社		年不詳			
237	森の泣蟲坊や	横田映画製作所		年不詳	オリジナルはトーキーだが音声なし。		
238	サクラグラフィ断片集 第一輯	横浜シネマ商会		年不詳	数タイトルの断片紹介 (各題名あり)		
239	のらくろ 部分	横浜シネマ商会		年不詳			
240	探偵ターチャン 殺人電波	マルサン		年不詳	玩具フィルム「MARUSAN FILM」の赤缶入り		
241	一寸法師	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
242	漫画 浦島太郎	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
243	化学の大戦争	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
244	新版漫画 かちかち山	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
245	マンガ 金太郎	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
246	真田大助大暴れ No.B.159.	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
247	新版 舌切雀	ライオン		年不詳	玩具フィルム。台詞が漫画の吹き出しで表現		
248	正チャンとリス君 新版海賊征伐	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
249	漫画 正チャンの太平洋横断 第二巻	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
250	底抜ドン助 仇討道中双六	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
251	ター坊の無敵戦車	ライオン		年不詳	玩具フィルム。本来はトーキー作品		
252	大太平洋大海戦	ライオン		年不詳	玩具フィルム		



253	チビ丸の北支従軍	ライオン		年不詳	玩具フィルム。科学映像館 (kagakueizo.org) で配信。		
254	チビ助捕物帳	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
255	漫画 忠臣蔵 討入 第二巻	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
256	チョンマゲどいちゃん東京見物	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
257	日の丸旗之助 ギャング討伐	ライオン		年不詳	玩具フィルム。No.A50		
258	漫画映画 ○助漫遊記	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
259	満州事変漫画 錦州城一番乗	ライオン		年不詳	玩具フィルム		
260	腰ぬけ武士			年不詳	玩具フィルム		
261	まんが 助太刀大歓迎			年不詳	玩具フィルム		
262	凸ちゃん戦争漫画 西部戦線異状なし			年不詳	玩具フィルム		
263	のらくろ元帥 大観艦式			年不詳	玩具フィルム		
264	唯野凡児 東京見物	キング		年不詳	玩具フィルム 途中まで		
265	二〇三凸坊従軍		木村白山	年不詳	画が簡略化されている 玩具用?		
266	マンガ 金太郎 足柄山	ライオン					
267	文福茶釜	ライオン					
268	日の丸旗之助 大捕物の巻		片岡芳太郎				
269	満洲事変漫画 馬賊大討伐	ライオン					
270	戦争漫画 野良犬伍長	孔雀印			玩具フィルム		
271	浦島太郎?			年不詳	後に北山清太郎作品ではなかった事が判明。染色映画館用フィルム		

272	エックス光線		年不詳	X線の図、産道を通る胎児はアニメーション。臍の緒が付いた胎児は実写。子宮口を進みラッパ管に行き着く精子の動きはアニメーション。		
273	火災予防（実写併用） 		年不詳	防火の教育映画と思われるがアニメの製作者は不詳。このプリントを複製した国立映画アーカイブは『火災予防(火の用心)』として登録。		
274	今昔珍合戦		年不詳	エンドクレジット／製作者：岩田西介、坂井晴男（小さい表記）		
275	舌切雀		年不詳	伴野商店。日本物映画在庫表のストーリーには「舌を切られた雀をたずねてゆく親切なおじいさん! 欲に引かれて遠道をたずね行くお婆さん!」と書かれている。「第一巻」と「第二巻」からなる。切り紙アニメでかなりプリミティブに見える。吹き出しと字幕があるが、字幕は後から付けられたものかも知れない。ただオリジナルの字幕と思われる「雀をどり」「つづらのおみやげ」「お帰り」などもある。「日本アニメーション映画史」196頁の『舌切り雀』（1928年、金井木一路・山本早苗）にも思える。		
276	空のおぢさん太平洋一番乗り		年不詳	アドバルーンに「あっぱれ三太郎」「シッカリ三太郎」などとあり、「空のおづさん 太平洋一番乗りを目指して 飛び出しました」「千島名物 霧の襲来」「見事 一番乗りの勇士 空のおぢさんは シヤトルの空に 現はれました」の字幕などから「日本アニメーション映画史」352頁にある『空のおぢさん太平洋一番乗り』（製作・十字屋、作者不詳、1巻）の可能性あり。		
277	鷹の戦功 		年不詳	映画保存協会小型映画部編「戦前小型映画集」（2010年2月）の「伴野商店9.5ミリ映画目録」（36頁）に大缶映画（1巻約20m）、品番G-18に『鷹の戦功』（2巻）あり。外国物の可能性も考えられたが、吹き出し部分の日本語はめ込みは難しいと思われ、また日本の軍服や雷様もでてくるが、よく出来た動きで断定できない。		
278	太郎の火星探検		年不詳	仔熊のアニメ		

279	時計の話			年不詳			
280	非常ラッパ			年不詳			
281	のらくろ上等兵 馬賊討伐の巻			年不詳	片岡芳太郎の画ではない。		
282	花咲爺			年不詳			
283	桃太郎			年不詳	伴野商店発行の日本物映画在庫表のストーリーには「桃より生まれた桃太郎の鬼ヶ島征伐の巻」と書かれている。		
284	題名不明（火災予防の日本アニメ）			年不詳			
285	題名不明（空襲とは）			年不詳	不詳。タイトル手書きラベルより		
286	題名不明（線画アニメーション）			年不詳	久里洋二風		
287	題名不明（部分）			年不詳	虎が出るアニメ		
288	題名不明（断片）			年不詳	ミッキーマウスの模倣、ダルマ		